

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第142集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第14集

南蛇井増光寺遺跡 I

B区・縄文・弥生時代
(遺物観察表編)

1 9 9 2

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第142集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第14集

南蛇井増光寺遺跡 I

B区・縄文・弥生時代
(遺物観察表編)

1 9 9 2

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

観 察 表 目 次

1 縄文時代住居跡出土遺物	B-105号住居跡出土遺物 ……………24
B-96号住居跡出土遺物……………1	B-106号住居跡出土遺物 ……………25
B-111号住居跡出土遺物 ……………1～2	B-107号住居跡出土遺物 ……………25～26
B-120号住居跡出土遺物 ……………2～3	B-108号住居跡出土遺物 ……………26～27
B-121号住居跡出土遺物 ……………3～4	B-112号住居跡出土遺物 ……………27
B-122号住居跡出土遺物 ……………4～5	B-113号住居跡出土遺物 ……………28
B-124号住居跡出土遺物 ……………5	B-114号住居跡出土遺物 ……………28
B-166号住居跡出土遺物 ……………5～6	B-115号住居跡出土遺物 ……………28～29
B-179号住居跡出土遺物 ……………6～7	B-116号住居跡出土遺物 ……………30～32
B-183号住居跡出土遺物 ……………7～9	B-118号住居跡出土遺物 ……………33
B-184号住居跡出土遺物 ……………9～10	B-132号住居跡出土遺物 ……………33～34
2 弥生時代住居跡出土遺物	B-162号住居跡出土遺物 ……………34
B-5号住居跡出土遺物……………10	B-164号住居跡出土遺物 ……………34～35
B-22号住居跡出土遺物……………11	B-168号住居跡出土遺物 ……………35
B-23号住居跡出土遺物……………11	B-174号住居跡出土遺物 ……………36
B-28号住居跡出土遺物……………11～12	B-178号住居跡出土遺物 ……………36
B-29号住居跡出土遺物……………12	3 埋甕出土遺物
B-31号住居跡出土遺物……………12～13	B-2号埋甕出土遺物……………37
B-32号住居跡出土遺物……………13～14	B-3号埋甕出土遺物……………37
B-33号住居跡出土遺物……………14	B-1号埋甕出土遺物……………37
B-36号住居跡出土遺物……………14	B-4号埋甕出土遺物……………37
B-39号住居跡出土遺物……………14	B-5号埋甕出土遺物……………37
B-51号住居跡出土遺物……………14～15	4 土坑出土遺物
B-59号住居跡出土遺物……………15～16	B-9号土坑出土遺物……………38
B-60号住居跡出土遺物……………16～18	B-17号土坑出土遺物……………38
B-61号住居跡出土遺物……………18	B-6号土坑出土遺物……………38～39
B-62号住居跡出土遺物……………18～19	B-7号土坑出土遺物……………39
B-75号住居跡出土遺物……………19～20	B-18号土坑出土遺物……………39
B-79号住居跡出土遺物……………20	5 グリッド出土遺物
B-87号住居跡出土遺物……………20	……………39～40
B-97号住居跡出土遺物……………20	
B-98号住居跡出土遺物……………21	
B-99号住居跡出土遺物……………22～24	
B-101号住居跡出土遺物 ……………24	

1 縄文時代住居跡出土遺物

B-96号住居出土遺物 (第8図 PL41)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
				文	様(その他)			
1	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚6mm~9mm。内面は器面が荒れている。内外面ともに繊維痕が認められる。	巾6mmの半截竹管による平行沈線で菱形文を構成。平行沈線内に爪形文を充填。		①砂粒・繊維を含む。 ②やや軟弱 ③外 褐色 内 橙色		
2	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚6mm~9mm。内外面器面荒れ、繊維痕が認められる。	巾6mmの半截竹管の平行沈線。		①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③内外面 黒褐色		
3	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚10mm。内外面とも器面が荒れ、繊維痕が認められる。	器面の荒れ著しい。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 黒褐色 内 橙色		
4	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~7mm。内外面とも器面荒れ、繊維痕が認められる。	器面の荒れ著しい。半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①砂粒・繊維含む。②やや軟弱 ③外 黒褐色 内 橙色		
5	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~10mm。内外面とも器面荒れ、繊維痕が認められる。	器面の荒れ著しい。半截竹管の平行沈線。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
6	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~9mm。内外面ともに繊維痕が認められる。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。器面が荒れている。		①粗砂粒・繊維を含む。②良 ③外 黒褐色 内 におい黄色		
7	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚8mm。外面に繊維痕が認められる。	巾5mmの半截竹管の平行沈線で菱形文を構成している。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 黒褐色		
8	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚9mm~11mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 黄橙色		
9	深鉢形土器 口縁部片	覆土	深鉢形土器の波状口縁部片。器厚6mm~8mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③内外面 黒褐色		
10	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚10mm。内外面に繊維痕が認められる。	半截竹管の平行沈線。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 黒褐色 内 黄褐色		
11	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚8mm~9mm。内面は横方向の調整が行われている。内外面に繊維痕が認められる。	原体Rのループ文、0段多条。		①砂粒・繊維を含む。 ②やや堅緻 ③内外面 におい黄褐色		
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計測値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
12	コア 完形	覆土	15.3	12.1	8.8	1967.2	硬質泥岩	主に原石の一侧で、打面と作業面を入れ替えながら剥片を剝離。チョッピングツール状を呈す。

B-111号住居出土遺物 (第13~15図 PL41)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁~胴部	+5cm	器厚6mm~8mm。内外面ともに繊維痕が認められる。内面は横方向の調整が行われている。	口縁部は原体LRの斜縄文施文後、巾6mmの半截竹管の平行沈線で三角形の区画か。以下原体LRとRLで羽状。現高21.9cm。	①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③外 橙色 内 褐色
2	深鉢形土器 口縁~胴部	+10cm	器厚7mm~9mm。内外面とも器面荒れ、繊維痕が認められる。	正反の合。 $L \begin{cases} R \\ R \\ R \\ L \\ L \end{cases} \begin{cases} R \\ R \\ R \\ L \\ L \end{cases}$ で羽状縄文。 口径(29.8cm)、現高26.4cm。	①砂粒・繊維を含む。 ②やや軟弱 ③外 におい橙色 内 褐色
3	深鉢形土器 口縁~胴上位	+5cm	器厚4mm~8mm。内面は横方向の調整が行われている。	LRとRLで羽状縄文。 口径27.3cm、現高21.4cm。	①砂粒・繊維を含む。 ②やや軟弱 ③外 褐色 内 赤褐色
4	深鉢形土器 半完形	埋設土器	器厚4mm~6mm。底部は上げ底でやや開き気味に立ち上がる。内外面とも繊維痕が著しい。	原体Lの斜縄文。 口径20.3cm、器高26.0cm、底径(9.1cm)。	①砂粒・繊維を含む。 ②やや軟弱 ③外 褐色 内 明赤褐色
5	深鉢形土器 胴下位	埋設土器	器厚8mm~12mm。内面は横方向の調整が行われている。	LRとRL(0段多条)で羽状縄文。 現高(13.1cm)。	①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 赤色 内 暗赤褐色
6	深鉢形土器 胴下~底部	+23cm	底部はやや上げ底。器厚7mm~8mm。内外面繊維痕が著しい。	外面の荒れが著しい。LRとRLで羽状縄文か。現高(10.5cm)、底径11.5cm。	①繊維を含む。②良 ③外 黄橙色 内 明褐色

1 縄文時代住居跡出土遺物

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様 (その他)			①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考	
				文 様 (その他)				
7	深鉢形土器 胴下～底部	床密着	やや上げ底。器厚5mm～7mm。外面繊維痕、内面横方向の調整。	L RとR Lで羽状縄文。 現高(13.7cm)、底径9.7cm。			①繊維を含む。②良 ③外 橙色 内 黒褐色	
8	深鉢形土器 胴下～底部	+20cm	器厚7mm～12mm。内外面とも器面の荒れ、繊維痕著しい。	LとRで羽状縄文。 現高(8.3cm)、底径9.3cm。			①砂粒・繊維を含む ②良 ③外 明赤褐色 内 ぶい赤褐色	
9	深鉢形土器 口縁部片	+5cm	波状口縁。器厚7mm～8mm。内外面に繊維痕が認められる。	L Rの斜縄文後、巾4mmの半截竹管の平行沈線。			①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 暗赤褐色 内 明赤褐色	
10	深鉢形土器 口縁部片	+1cm	器厚8mm～11mm。外面に繊維痕が認められる。	口縁部は巾3mm～5mmの半截竹管の平行沈線。以下R Lの斜縄文。			①繊維を含む。②良 ③外 に ぶい赤褐色 内 明赤褐色	
11	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚8mm～10mm。内外面に繊維痕が認められる。	R Lの斜縄文後、巾4mmの半截竹管の平行沈線。			①繊維を含む。②良 ③外 暗赤褐色 内 褐色	
12	深鉢形土器 口縁部片	覆土	波状口縁。器厚8mm。	巾3mmの半截竹管の平行沈線。			①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色	
13	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚7mm～8mm。	R Lの斜縄文、0段多条か?			①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 暗赤褐色	
14	深鉢形土器 頸部片	覆土	器厚8mm～11mm。	巾4mmの半截竹管の平行沈線。			①繊維を含む。②良 ③内外面 暗赤褐色	
15	深鉢形土器 口縁部片	+11cm	器厚13mm～15mm。外面に繊維痕が認められる。	R Lの斜縄文後、巾3mmの半截竹管の平行沈線。			①繊維を含む。②良 ③外 に ぶい赤褐色 内 暗赤褐色	
16	深鉢形土器 口縁部片	+13cm	器厚7mm～8mm。内外面とも繊維痕が著しい。	口縁部、巾3mmの半截竹管の平行沈線。			①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 明赤褐色 内 褐色	
17	深鉢形土器 胴部片	+5cm	器厚8mm～11mm。内外面とも器面の剥落が著しい。	R Lの斜縄文。			①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 暗赤褐色	
18	深鉢形土器 胴部片	+30cm	器厚7mm～9mm。	原体Lの斜縄文。			①繊維なし、砂粒を含む。②良 ③内外面 赤褐色	
19	深鉢形土器 胴部片	+11cm	器厚6mm～8mm。内外面に繊維痕が認められる。	原体Rの斜縄文。			①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 暗赤褐色	
20	深鉢形土器 胴部片	+6cm	器厚8mm～11mm。内面に繊維痕が認められる。	原体L Rの斜縄文。0段多条。			①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 黒褐色	
21	深鉢形土器 頸部片	+5cm	器厚7mm～8mm。内外面とも繊維痕が著しい。	原体L Rの斜縄文後、巾5mmの半截竹管の平行沈線。			①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色	
22	深鉢形土器 口縁部片	+13cm	器厚6mm～7mm。	原体Lの斜縄文。			①繊維なし、砂粒・金雲母を含む。 ②良 ③内外面 暗赤褐色	
23	深鉢形土器 胴部片	+13cm	器厚6mm～8mm。				④22～24は同一固体。	
24	深鉢形土器 口縁部片	+8cm	器厚6mm～8mm。円孔あり。					
25	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚6mm～8mm。円孔あり。	原体L Rの斜縄文。			①繊維なし、砂粒を含む。②良 ③内外面 明赤褐色	
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
26	石匙 完形	+12cm	2.2	4.7	0.8	5.8	チャート	中央部につまみを作出した、小型の横型石匙。両面全面に細かく調整が施されている。
27	石匙 完形	覆土	5.2	2.3	1.1	10.0	チャート	背面の全周に調整が加えられ、腹面のほとんど及び背面の一部に素材剥片の面を残す。
28	コア	+11cm	17.1	14.5	8.6	2325.0	硬質泥岩	片面に大きく自然面を残し、主にその反対側で全周を回るようにして剥片を剥離。
29	剥片	覆土	9.0	6.3	2.2	98.4	硬質泥岩	先端部に形大きさともに不ぞろいな剥離が見られる。
30	スクレイパー	覆土	8.5	6.5	1.1	72.6	硬質泥岩	横長の剥片を素材とし、末端部の背面側に主に調整を加え、刃部を作出。

B-120号住居出土遺物 (第18～20図 P L 42)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様 (その他)			①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
				文 様 (その他)			
1	深鉢形土器 底部	+15cm	器厚8mm～13mm。脚部が確立した上げ底。内外面繊維痕。	LとRで羽状縄文。 現高(2.2cm)、底径(11.4cm)。			①繊維を多量に含む。②良 ③内外面 黄褐色
2	深鉢形土器 底部	+10cm	器厚7mm～10mm。やや上げ底。器面が荒れている。	外面、器面が荒れている。羽状縄文か。 現高(2.7cm)、底径7.1cm。			①繊維・白色粗砂を多量に含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 褐色

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
				石 材	特 徴			
3	深鉢形土器 底部	+16 cm	器厚 8 mm~10 mm。上げ底。内外面 繊維痕。	内外面器面の荒れ著しい。 現高 (2.1 cm)、底径 9 cm。		①繊維・白色砂粒を含む。②良 ③内外面 赤褐色		
4	深鉢形土器 底部	覆土	器厚 6 mm~10 mm。上げ底。内外面 繊維痕。	内外面器面の荒れ著しい。 現高 (2.2 cm)、底径 10.2 cm。		①繊維・白色粗砂を多量に含む。 ②良 ③外 褐色 内 明褐色		
5	深鉢形土器 底部	覆土	器厚 7 mm~12 mm。上げ底。	原体LRの斜縄文。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 明褐色		
6	深鉢形土器 口縁部片	+13 cm	平縁。器厚 8 mm~13 mm。器面の荒 れ著しい。内外面繊維痕。	巾 6 mmの半截竹管の平行沈線が横方向に施 されている。		①繊維・白色粗砂を含む。②良 ③外 暗赤褐色 内 赤褐色		
7	深鉢形土器 口縁~頸部	+23 cm	器厚 6 mm~9 mm。内外面とも器面 荒れ、繊維痕が認められる。	外面摩滅、原体RLの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 明褐色		
8	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚 11 mm~12 mm。外面に繊維痕 が認められる。	巾 5 mmの半截竹管の平行沈線。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
9	深鉢形土器 口縁~頸部	覆土	器厚 10 mm~12 mm。内面は器面荒 れ、繊維痕が認められる。	巾 8 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 にぶい黄褐色		
10	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚 8 mm~9 mm。内面は横 方向の調整が行われている。	巾 7 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗赤褐色		
11	深鉢形土器 口縁部片	+ 8 cm	器厚 8 mm~9 mm。内面は横方向の 調整が行われている。	巾 8 mmの半截竹管の平行沈線。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
12	深鉢形土器 口縁~頸部	+ 1 cm	器厚 8 mm~12 mm。内面は横方向の 調整が行われている。	巾 10 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
13	深鉢形土器 頸部片	覆土	器厚 8 mm~11 mm。	巾 5 mmの半截竹管の平行沈線。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
14	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚 7 mm~8 mm。	LRとRLの羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
15	深鉢形土器 胴部片	+15 cm	器厚 8 mm~12 mm。内外面に繊維痕 が認められる。	R(細い)とLで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 橙色 内 黒褐色		
16	深鉢形土器 胴部片	+21 cm	器厚 9 mm~11 mm。器面の荒れ著し い。内外面に繊維痕。	R(細い)とLで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 黒褐色		
17	深鉢形土器 胴部片	+13 cm	器厚 8 mm~10 mm。	R(細い)とLで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 明褐色		
18	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚 7 mm~8 mm。外面に繊維痕が 認められる。	原体Lの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 にぶい褐色		
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
19	打製石鏃 完形	覆土	2.2	1.6	0.4	1.1	チャート	入念な調整が全面に加えられる。細身で比較的脚が長い。
20	打製石鏃 一部欠損	覆土	(1.8)	2.0	0.4	1.0	黒曜石	入念な調整が全面に加えられる。先端部が欠損。
21	打製石斧 完形	住居外	20.1	8.4	3.6	631.8	硬質泥岩	中央部両側にえぐりの入る分銅型。下側の刃部に顕著な摩耗痕が見られる。
22	打製石斧 完形	覆土	12.0	7.6	2.5	227.3	硬質泥岩	中央部両側にえぐりの入る分銅型。

B-121号住居出土遺物(第23・24図 PL42)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
				石 材	特 徴	
1	深鉢形土器 口縁~胴部	+ 4 cm	器厚 6 mm~9 mm。	LとRで菱形を区画。口径 (20.8 cm)、 現高 (18.8 cm)。		①繊維を含む。②良 ③内外面 にぶい褐色
2	深鉢形土器 底部	+ 4 cm	器厚 6 mm~8 mm。上げ底。内外面 とも繊維痕が認められる。	内外面とも器面の荒れが著しい。 現高 (2.2 cm)、底径 (8.5 cm)。		①繊維を含む。②良 ③外 明赤褐色 内 橙色
3	深鉢形土器 底部	覆土	器厚 11 mm~14 mm。確立した脚部 をもつ上げ底。	器面の荒れが著しい。縄文施文か。 現高 (4.6 cm)、底径 (8.8 cm)。		①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
4	深鉢形土器 口縁部片	+16 cm	器厚 7 mm~8 mm。	巾 7 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色
5	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚 8 mm~9 mm。内面は横方向の 調整が行われている。	巾 8 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 明褐色
6	深鉢形土器 口縁部片	+27 cm	器厚 7 mm~8 mm。内外面に繊維痕 が認められる。	巾 8 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。 原体Rの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 暗赤褐色 内 明褐色

1 縄文時代住居跡出土遺物

番号	器種(部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
7	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚9mm~10mm。	L RとR Lの羽状縄文後、巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色
8	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚8mm~9mm。外面に繊維痕が認められる。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明赤褐色
9	深鉢形土器 口縁部片	+15cm	器厚8mm~11mm。内面は横方向の調整が行われている。	原体Rの斜縄文後、巾6mmの半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。 ②良 ③外 暗褐色 内 褐色
10	深鉢形土器 頸~胴部	+10cm	器厚8mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾7mmの半截竹管の平行沈線。 L R } 0段多状で羽状縄文。 R L }	①繊維を含む。 ②良 ③外 暗褐色 内 褐色
11	深鉢形土器 頸部片	+19cm	器厚8mm~11mm。内面は横方向の調整が行われている。	頸部は巾6mmの半截竹管の平行沈線。以下LとRで羽状縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明赤褐色
12	深鉢形土器 頸部片	+33cm	器厚7mm~9mm。内面に繊維痕が認められる。	L RとR L羽状縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 明褐色
13	深鉢形土器 頸部片	+36cm	器厚8mm~10mm。内外面に繊維痕が認められる。	器面摩滅、巾10mmの半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。 ②良 ③外 褐色 内 黄褐色
14	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚9mm~10mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾6mmの半截竹管の平行沈線、沈線の外側に刺突文。	①白色粗砂・繊維を含む。 ②良 ③外 暗褐色 内 褐色
15	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚10mm~11mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾9mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。 ②良 ③外 にぶい褐色 内 橙色
16	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~10mm。	巾11mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維なし。 ②良 ③外 褐色 内 明褐色
17	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚8mm~9mm。	L R (0段多条) R L (0段多条) } で羽状縄文。	①ガラス質鉱物・繊維を含む。 ②良 ③外 暗褐色 内 褐色
18	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚7mm。外面に繊維痕が認められる。	原体R Lの斜縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③外 にぶい褐色 内 黒褐色
19	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~7mm。外面に繊維痕が認められる。	半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明褐色
20	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚8mm~9mm。内外面に繊維痕。	原体R Lの斜縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 にぶい褐色

B-122号住居出土遺物 (第26~28図 PL 42・43)

番号	器種(部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁~胴下位	床密着	平縁。円筒形。器厚は6mm~9mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	口縁と胴部の横方向の隆帯の間に隆帯で菱形区画。隆帯の内・外側を半截竹管の平行沈線内に爪形文で充填。胴部の隆帯の下はL R } 0段多条の羽状縄文。 R L } 口径(14.7cm)、現高(20.9cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 にぶい褐色
2	深鉢形土器 口縁部	+7cm	4単位の波状口縁。口縁部は内湾する。器厚8mm~9mm。内面は横方向の調整。	口縁にそって巾8mmの半截竹管の平行沈線3条。区画内を2条の巾10mmの平行沈線内に爪形文で三角形構成か。 頸部はL R } 0段多状の羽状縄文。 R L }	①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③外 明赤褐色 内 赤褐色
3	深鉢形土器 頸~胴上位	+7cm	器厚7mm~10mm。内外面に繊維痕が認められる。	RとLで羽状縄文。内外面とも器面の剥落著しい。現高(15.6cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
4	深鉢形土器 胴部	+9cm	器厚8mm~9mm。内外面に繊維痕が認められる。	LとRで羽状縄文。器面の剥落著しい。現高(25.5cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 にぶい赤褐色
5	深鉢形土器 胴部~底部	+9cm	上げ底。器厚6mm~7mm。内外面に繊維痕。	LとRで羽状縄文。内外面、器面の荒れ著しい。現高(15.5cm)、底径(9.1cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
6	深鉢形土器 頸部~胴部	+16cm	器厚8mm~12mm。内面は横方向の調整が行われている。	巾7mmの半截竹管の平行沈線。頸部以下はRとLで羽状縄文。器面の剥落著しい。現高(17.8cm)。	①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③外 暗褐色 内 褐色
7	深鉢形土器 頸部~胴部	+9cm	器厚7mm~9mm。内外面に繊維痕が認められる。	LとRで羽状縄文。器面の剥落著しい。現高(18.5cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
8	深鉢形土器 口縁部片	+8cm	波状口縁。口縁部は内湾する。器厚8mm~11mm。内面は丁寧な調整が行われている。	口縁にそって巾9mmの3条の半截竹管の平行沈線内に爪形文充填。区画内を2条1単位の平行沈線内に爪形文で菱形構成。	①繊維を含む。 ②良 ③外 赤褐色 内 明赤褐色

1 縄文時代住居跡出土遺物

番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
8	スクレイパー	覆土	10.3	5.4	1.6	63.0	硬質泥岩	剥片の腹面ほぼ全周に調整が加えられている。
9	スクレイパー	覆土	7.7	6.9	1.9	99.6	硬質泥岩	剥片の先端部に不規則で小さな剥離が見られる。

B-179号住居出土遺物 (第38~40図 P L 43)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁部片	+16cm	波状口縁。器厚9mm~10mm。内面は横方向の丁寧な調整。	巾7mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。菱形を区画。	①繊維を含む。②良 ③外 におい黄褐色 内 暗褐色
2	深鉢形土器 口縁部片	+26cm	平縁。器厚8mm~9mm。内外面に繊維痕が認められる。	L R (0段多条)の斜縄文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 におい黄褐色
3	深鉢形土器 口縁部片	+13cm	波状口縁。器厚11mm。内面に繊維痕が認められる。	巾4mmの半截竹管の平行沈線で三角形を区画。	①繊維を含む。②良 ③内外面 暗赤褐色
4	深鉢形土器 口縁部片	+18cm	波状口縁。器厚9mm~11mm。内面は横方向の調整。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文充填。	①繊維を含む。②良 ③内外面 におい黄褐色
5	深鉢形土器 口縁部片	+20cm	器厚7mm~10mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾5mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文充填。菱形区画か。	①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 明褐色
6	深鉢形土器 口縁部片	+10cm	平縁。器厚8mm~9mm。内面に繊維痕。	巾10mmの半截竹管の平行沈線文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 明褐色
7	深鉢形土器 口縁部片	+21cm	器厚6mm~8mm。器面の荒れ著しい。内外面に繊維痕。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②やや軟弱 ③内外面 褐色
8	深鉢形土器 口縁部片	+12cm	波状口縁。器厚8mm~9mm。内面は丁寧な調整。	巾9mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③外 灰褐色 内 におい褐色
9	深鉢形土器 口縁部片	+5cm	波状口縁。器厚8mm~12mm。内面は丁寧な調整。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。外面は器面の荒れが著しい。	①繊維を含む。②良 ③外 におい褐色 内 褐色
10	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚8mm~11mm。内面は横方向の丁寧な調整。	無文。	①繊維を含む。②良 ③外 黒褐色 内 におい褐色
11	深鉢形土器 口縁部片	+23cm	器厚8mm~10mm。	巾7mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③外 におい黄褐色 内 橙色
12	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚7mm~10mm。内面は横方向の調整が行われている。	附加条。 $\left. \begin{matrix} R L + R \cdot R \\ L R + L \cdot L \end{matrix} \right\}$ で羽状。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
13	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚7mm~8mm。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
14	深鉢形土器 口縁部片	+12cm	器厚8mm~12mm。内外面に繊維痕が認められる。	巾11mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。器面が荒れている。	①粗砂・繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
15	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚9mm~10mm。	R Lの斜縄文後、巾5mmの半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色
16	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm~8mm。内面は丁寧な調整が行われている。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
17	深鉢形土器 口縁部片	+20cm	器厚8mm~10mm。	R Lの斜縄文後、巾5mmの半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 明褐色
18	深鉢形土器 口縁部片	+18cm	平縁。器厚6mm~7mm。	巾5mmの半截竹管の爪形文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
19	深鉢形土器 頸部片	床密着	器厚9mm~11mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	L RとRで羽状縄文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
20	深鉢形土器 頸部片	+16cm	器厚8mm~11mm。内面は横方向の調整が行われている。	L RとRで羽状縄文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
21	深鉢形土器 口縁部片	+17cm	平縁。器厚9mm~10mm。内面は横方向の調整が行われている。	L R (0段多条)、R L R (0段多条)で羽状縄文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
22	深鉢形土器 頸部片	+12cm	器厚7mm~9mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	巾6mmの半截竹管の平行沈線。外面は器面の荒れ著しい。	①繊維を含む。②良 ③外 暗褐色 内 におい褐色
23	深鉢形土器 頸部片	床密着	器厚7mm~12mm。内外面とも器面の荒れが著しい。	巾8mmの半截竹管の平行沈線。L R (0段多条)の斜縄文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色
24	深鉢形土器 頸部片	床密着	器厚10mm~11mm。内外面とも繊維痕が認められる。	L R (0段多条)とRで羽状縄文。内外面とも器面の荒れ著しい。	①繊維を含む。②良 ③内外面 灰褐色
25	深鉢形土器 頸部片	+21cm	器厚6mm~8mm。内外面とも器面荒れ繊維痕が著しい。	内外面ポロボロ、観察不可能。	①繊維を含む。②やや軟弱 ③内外面 褐色
26	深鉢形土器 胴部片	+23cm	器厚6mm~8mm。	器面摩滅著しい。原体Rの斜縄文か。	①白色粗砂・繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
							石 材	特 徴
27	深鉢形土器 胴部片	+22cm	器厚10mm~12mm。	原体Rの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 におい黄褐色 内 暗褐色		
28	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚9mm~11mm。	RとLで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 褐色		
29	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚8mm~9mm。内面は丁寧な調整が行われて著しい。	原体Rの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
30	深鉢形土器 胴部片	+25cm	器厚9mm~10mm。	附加条 L+r・rをクロスさせて附加。		①繊維を含む。②良 ③外 明赤褐色 内 におい褐色		
31	深鉢形土器 底部	覆土	脚部の確立した上げ底。器厚8mm~11mm。	器面の摩滅著しい。		①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 暗褐色		
32	深鉢形土器 底部	+25cm	やや上げ底。器厚10mm。	LR(0段多条)の斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 橙色		
33	深鉢形土器 底部	床密着	脚部の確立した上げ底。器厚10mm~13mm。内外面に繊維痕。	LとRで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 明褐色 内 におい褐色		
34	深鉢形土器 底部	覆土	上げ底。器厚9mm~13mm。	LRとRLで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③外 明褐色 内 橙色		
35	ミニチュア 底部	+6cm	脚部の確立した上げ底。器厚8mm~10mm。	外面の摩滅著しい。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 におい褐色		
36	器種不明 口縁付近か	覆土	器厚7mm~10mm。	RL(0段多条?)を充填。貼付文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
37	スクレイパー 完形	+17cm	3.7	3.6	1.3	15.2	赤色珪質岩	素材のほぼ全周に調整を加える。調整は比較的荒く刃部も鋸歯縁状を呈する。
38	スクレイパー 完形	+22cm	8.3	9.8	2.4	154.6	硬質泥岩	素材剥片先端部両面に調整を加えられる。
39	スクレイパー 完形	+30cm	8.1	6.7	2.2	122.7	硬質泥岩	剥片の先端では背面側に調整を加え、急角度の歯部を作出。両面に調整を加えている。
40	スクレイパー 完形	床密着	7.0	12.3	2.5	180.4	硬質泥岩	横長の剥片の先端部背面側に調整を加えている。
41	剥片 完形	覆土	7.3	4.2	1.2	39.6	硬質泥岩	先端部の内側に不規則で小さな剝離が見られる。
42	二次加工ある剥片完形	覆土	4.1	5.6	1.4	29.9	赤色珪質岩	素材剥片の先端及び腹面左側縁に調整を加える。
43	凹石 完形	+4cm	9.0	7.8	4.1	398.0	砂岩	両面中央部にくぼみ。側縁には全面に互って敲打痕が認められる。

B-183号住居出土遺物(第42~45図 PL44)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁部片	床密着	4単位の波状口縁。頸部は大きくくびれ、口縁は内湾して立ち上がる。器厚6mm~9.5mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	口縁にそって巾10mmの半截竹管の平行沈線3条、その下に斜め方向に3条の平行沈線を施し三角形を構成している。頸部は半截竹管の平行沈線(2条)内に爪形文。沈線の施文は波頂部を開始点。口径35.7cm、現高(19.5cm)、頸径26.5cm。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 赤褐色
2	深鉢形土器 ほぼ完形	+6cm	4単位の波状口縁。底部は上げ底。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。器厚9mm~13mm。	口縁にそって巾6mmの半截竹管の平行沈線3条、内に爪形文で菱形構成。以下はLとRで羽状縄文。口径20.5cm、器高29.5cm、底径6.5cm。	①砂粒・繊維を含む。 ②良 ③内外面 赤褐色
3	深鉢形土器 口縁部片	床密着	器厚7.5mm~12mm。内外面とも横方向の丁寧な調整が行われている。	上部は巾8mmの半截竹管の平行沈線を横方向に3条、頸部は半截竹管の平行沈線内に爪形文を横方向に3条施文。その間に平行沈線文3条で菱形構成。頸部以下は原体RLの斜縄文。現高(20.0cm)、頸径(37.2cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③におい橙色
4	深鉢形土器 口縁部片	+10cm	4単位の波状口縁。口縁部は外傾する。器厚6mm~10mm。内外面とも丁寧な調整が行われている。外面の一部に繊維痕が認められる。	口縁部にそって3条1単位、頸部に1条、巾7mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文、区画内を半截竹管の平行沈線内に爪形文で菱形構成。現高(19.2cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③褐色

1 縄文時代住居跡出土遺物

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様 (その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
				石 材	特 徴			
5	深鉢形土器 口縁～胴部	+12 cm	器厚6mm～9mm。内外面とも器面の荒れ著しく、繊維痕が認められる。	口縁～頸部に巾6mmの半截竹管の平行沈線で菱形構成。頸部以下RとLで羽状縄文。現高(24.6cm)、頸径(30.8cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③外 におい褐色 内 黒褐色		
6	深鉢形土器 口縁部	+10 cm	器厚7mm～10mm。内面は横方向の調整。内外面とも器面荒れ繊維痕が認められる。	口縁～頸部、巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文充填でくずれた菱形構成。頸部以下原体LRの斜縄文。現高(18.0cm)、頸径(25.5cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③外 におい赤褐色 内 黒褐色		
7	深鉢形土器 口縁～胴部	+14 cm	平縁。器厚6mm～7mm。内外面とも器面の剥落著しく、繊維痕が顕著に認められる。	原体Rの斜縄文を施文。口径(14.0cm)、現高(9.8cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③外 におい赤褐色 内 黒褐色		
8	深鉢形土器 胴部～底部	+10 cm	底部は上げ底。腰部が張る。外面は器面の剥落著しい。内面は丁寧な調整。器厚6mm～10mm。	LとRで羽状縄文。現高(18.4cm)、底径(9.3cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明赤褐色		
9	深鉢形土器 口縁～胴上位	+8 cm	平縁。器厚7mm～9mm。内面は丁寧な調整が行われている	LR(0段多条) RL(0段多条) } で羽状縄文。		①繊維を含む。 ②良 ③内外面 赤褐色		
10	深鉢形土器 口縁部片	+8 cm	波状口縁。器厚8mm～13mm。外面は器面の荒れが著しい。内面は丁寧な調整が行われている。	RLとLRで羽状縄文。		①繊維・赤色砂粒を含む。 ②良 ③内外面 橙色		
11	深鉢形土器 胴下位～底部	+5 cm	底部は上げ底で丁寧な調整が行われている。器厚7mm～10mm。内外面に繊維痕が認められる。	LRとRLで羽状縄文。 現高(6.7cm)、底径(10.4cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③明褐色		
12	深鉢形土器 胴下位～底部	+2 cm	底部は上げ底で丁寧な調整が行われている。器厚6mm～9mm。内外面に繊維痕が認められる。	原体Rの斜縄文。 現高(5.5cm)、底径(8.5cm)。		①繊維を含む。 ②良 ③赤褐色		
13	深鉢形土器 底部	+19 cm	底部は上げ底。器厚は9mm～11mm。内外面に繊維痕。	内外面とも器面の摩滅著しい。現高(2.3cm)、底径9.6cm。		①粗砂・繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
14	深鉢形土器 底部	+7 cm	底部は上げ底。器厚は6mm～7mm。内面に繊維痕。	器面の摩滅著しい。		①繊維を含む。②良 ③内外面 におい赤褐色		
15	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚6mm～8mm。内外面に繊維痕が認められる。	内外面とも器面の摩滅著しい。		①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
16	深鉢形土器 口縁部片	覆土	器厚6mm～8mm。外面に繊維痕が認められる。	外面の摩滅著しく、観察不可能。		①繊維を含む。②良 ③内外面 明褐色		
17	深鉢形土器 口縁部片	+1 cm	平縁。器厚5mm～8mm。内外面に繊維痕。	内外面とも摩滅著しい。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
18	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚7mm～9mm。内外面に繊維痕。	巾7mmの半截竹管の平行沈線2条で菱形構成か？		①白色粗砂・繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
19	深鉢形土器 頸部片	覆土	器厚7mm～9mm。内外面に繊維痕が認められる。	頸部に巾7mmの半截竹管の平行沈線が横方向に4条施されている。頸部以下は原体RLの斜縄文施文。		①繊維を含む。 ②良 ③外 極暗赤褐色 内 褐色		
20	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚7mm～9mm。内外面に繊維痕が認められる。	外面は器面摩滅。一部に原体Lの斜縄文が観察できる。		①白色粗砂・繊維を含む。②良 ③外 暗赤褐色 内 褐色		
21	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚8mm～9mm。内外面に繊維痕が認められる。	LとRで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 明赤褐色		
22	深鉢形土器 胴部片	+6 cm	器厚11mm～13mm。	LRとRLで羽状縄文。(0段多条)。		①繊維を含む。②良 ③外 黒褐色 内 明褐色		
23	深鉢形土器 口縁部片	+4 cm	平縁か？器厚9mm～12mm。内外面に繊維痕が認められる。	原体LRの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③褐色		
24	深鉢形土器 口縁部片	+7 cm	器厚6mm～10mm。内外面に繊維痕が認められる。	口縁部は原体LRの斜縄文後、巾5mmの半截竹管の平行沈線2条で菱形を構成する。		①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 明褐色		
25	深鉢形土器 胴部片	+9 cm	器厚7mm～9mm。内外面に繊維痕が認められる。	LとRで羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
26	深鉢形土器 胴部片	+11 cm	器厚10mm～13mm。外面に繊維痕が認められる。	原体LRの斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
27	打製石鏃 一部欠	覆土	2.1	1.4	0.5	0.8	チャート	入念な調整が全周に加えられる。細身で比較的脚が長い。先端を一部欠く。
28	石匙 完形	+14 cm	9.0	8.3	1.4	101.6	ホルンフェルス	素材剥片の全周に粗雑な調整が加えられる。石匙の未製品か？

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
29	打製石斧 完形	+4 cm	10.3	6.0	4.0	304.1	硬質泥岩	分割礫を素材とする。調整は全周のみで全面には及ばず、素材の形状を残し、断面は三角形を呈す。

B-184 号住居出土遺物 (第 49~52 図 P L 45)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁部	+20 cm	8 単位の波状口縁。器厚 9 mm~11 mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	口縁にそって巾 7 mm の半截竹管の平行沈線内に爪形文 2 条、頸部に 1 条を施文。区画内に平行沈線に爪形文で菱形、三角形構成か？頸部以下は原体 R L の斜縄文。現高 (16.5 cm)、頸径 (18.0 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③にぶい橙色
2	深鉢形土器 口縁部	+2 cm	平縁で円筒形を呈する。器厚 7 mm~10 mm。内面は横方向の調整が行われている。	L R のループ文を等間隔に施文している。口径 (12.8 cm)、現高 (22.9 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明赤褐色
3	深鉢形土器 口縁部	+19 cm	4 単位の波状口縁。器厚 6 mm~8 mm。内外面とも器面が荒れ、繊維痕が認められる。	口縁から頸部にかけて巾 7 mm の半截竹管の平行沈線内に爪形文を口縁にそって 6 条、頸部に横方向に 2 条 (?) を施文。三角形構成。口径 (38.8 cm)、現高 (14.4 cm)。	①繊維を含む。 ②やや軟弱 ③外 暗褐色 内 にぶい黄橙色
4	深鉢形土器 口縁部	+7 cm	器厚 7 mm~9 mm。内面は丁寧な横方向の調整が行われている。	原体 R L の斜縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 黄褐色
5	深鉢形土器 口縁部	床密着	器厚 7 mm~10 mm。内面は剥離、繊維痕著しい。	口縁~頸部は R L + R・R (2 本附加条) 施文後、4 本単位の平行沈線を横方向に 3 条施文、沈線間に 4 本単位の平行沈線を山形に施文し三角形を構成している。頸部以下は R L + R・R (2 本附加条) の縄文施文。現高 (25.0 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 橙色
6	深鉢形土器 胴部	+4 cm	器厚 7 mm~9 mm。内面の摩滅著しく、繊維痕が観察できる。	原体 R の斜縄文をほぼ全面に施文しているが、上部の一部にのみ原体 L の斜縄文を施文している。現高 (19.5 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③外 にぶい赤褐色 内 黒褐色
7	深鉢形土器 胴部~底部	+16 cm	底部は上げ底を呈する。器厚 9 mm~10 mm。内面は横方向の丁寧な調整が行われている。	L と R で羽状縄文。 現高 (11.7 cm)、底径 (7.5 cm)。	①粗砂・繊維を含む。 ②良 ③外 にぶい赤褐色 内 黒褐色
8	深鉢形土器 胴部~底部	床密着	平底。器厚 7 mm~9 mm。内外面に繊維痕が認められる。	L R と R L で羽状縄文 (0 段多条)。	①粗砂・繊維を含む。 ②良 ③内外面 暗赤褐色
9	深鉢形土器 底部	+16 cm	底部は上げ底、丁寧な調整が行われている。	原体 R L の斜縄文。 現高 (11.0 cm)、底径 (8.0 cm)。	①白色粗砂・繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色
10	深鉢形土器 底部	+19 cm	底部上げ底。器厚 7 mm~10 mm。内外面荒れが著しく繊維痕。	原体 L の斜縄文。 現高 (4.0 cm)、底径 (9.2 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③明褐色
11	深鉢形土器 底部	+28 cm	脚部の確立した上げ底。器厚 7 mm~11 mm。内面は比較的丁寧な調整。外面に繊維痕。	原体 R L の斜縄文。 現高 (6.3 cm)、底径 (8.2 cm)。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明赤褐色
12	深鉢形土器 口縁部片	+26 cm	平縁。器厚 8 mm~13 mm。器面が荒れ、内外面に繊維痕。	頸部に巾 6 mm の半截竹管の平行沈線を横方向に施文。	①粗砂・繊維を含む。 ②良 ③暗褐色
13	深鉢形土器 口縁部片	+23 cm	器厚 10 mm~15 mm。	巾 10 mm の半截竹管の平行沈線内に爪形文。隆帯あり。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 暗褐色
14	深鉢形土器 胴部片	+23 cm	器厚 8 mm~10 mm。外面に繊維痕が認められる。	R L と L R で羽状縄文 (0 段多条)。	①白色粗砂・繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色
15	深鉢形土器 口縁部片	+22 cm	波状口縁。器厚 8 mm~9 mm。内外面の摩滅著しく、繊維痕が認められる。	口縁にそって巾 10 mm の半截竹管の平行沈線内に爪形文 2 条、頸部に数条の半截竹管の平行沈線内に爪形文。区画内に平行沈線・爪形文で菱形構成。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色
16	深鉢形土器 口縁部片	+19 cm	波状口縁。器厚 7 mm~12 mm。内面は横方向の丁寧な調整。	外面の摩滅著しい。巾 8 mm の半截竹管の平行沈線内に爪形文の一部が観察できる。	①粗砂・繊維を含む。 ②良 ③内外面 赤褐色
17	深鉢形土器 口縁部片	+23 cm	波状口縁。内外面とも摩滅が著しく、繊維痕が認められる。器厚 5.5 mm~8 mm。	外面摩滅。巾 8 mm の半截竹管の平行沈線に爪形文か？	①粗砂・繊維を含む。 ②やや軟弱 ③内外面 明褐色
18	深鉢形土器 頸部片	+23 cm	器厚 4 mm~8 mm。内外面の摩滅著しく、繊維痕が認められる。	外面の摩滅著しい。頸部は横方向に半截竹管の平行沈線文、以下 L と R の羽状縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色

1 縄文時代住居跡出土遺物

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文 様 (その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
				文	様 (その他)			
19	深鉢形土器 口縁部片	+11 cm	器厚 8 mm~11 mm。内外面とも摩滅著しく、繊維痕。	外面摩滅。		①繊維を含む。②やや軟弱 ③内外面 褐色		
20	深鉢形土器 口縁部片	+24 cm	波状口縁か？内面は横方向の丁寧な調整。器厚 6 mm~9.5 mm。	外面摩滅。一部に巾 9 mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文が観察できる。		①粗砂・繊維を含む。②やや軟弱 ③内外面 褐色		
21	深鉢形土器 胴部片	+22 cm	器厚 7 mm~10 mm。内外面に繊維痕が認められる。	R L と L R (0段多条) で羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色		
22	深鉢形土器 胴部片	+25 cm	器厚 6 mm~9 mm。内外面に繊維痕が認められる。	L R と R L で羽状縄文 (0段多条)。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
23	深鉢形土器 胴部片	+21 cm	器厚 8 mm~10 mm。内外面に繊維痕が認められる。	L R + L ・ L (附加条)		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
24	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚 11 mm。	原体 R の斜縄文後繊維束圧痕。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
25	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚 7 mm~8 mm。	R L + L ・ L } L R + R ・ R } で羽状縄文 (附加条)。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
26	深鉢形土器 口縁部片	覆土	平縁。器厚 9 mm~10 mm。	ループ文か？		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
27	深鉢形土器 口縁部片	+13 cm	器厚 8 mm~9 mm。内面に繊維痕が認められる。	R と L で羽状縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 ぶい褐色		
28	深鉢形土器 胴部片	+2 cm	器厚 6 mm~8 mm。内外面とも器面の荒れ著しく、繊維痕あり。	原体 L の斜縄文か？		①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色		
29	深鉢形土器 胴部片	覆土	器厚 8 mm~9 mm。	R + L ・ L (附加条)。		①繊維を含む。②良 ③暗褐色		
30	深鉢形土器 口縁部片	+2 cm	器厚 8 mm~11 mm。内外面に繊維痕が認められる。	R L R (0段多条) の斜縄文後、半截竹管の平行沈線を施文。頸部以下 R L R (0段多条) の斜縄文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
31	深鉢形土器 胴部片	+4 cm	器厚 7 mm~9 mm。	原体 L の斜縄文後、半截竹管の平行沈線内に爪形文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
32	深鉢形土器 胴部片	+6 cm	器厚 7 mm~10 mm。内外面に繊維痕が認められる。	外面摩滅。附加条か？		①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
33	深鉢形土器 突起部	覆土	器厚 14 mm。深鉢形土器の突起部の一部。			①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色		
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
34	剥片	+12 cm	6.9	4.9	1.5	50.7	硬質泥岩	先端腹面に小さな剝離が見られる。右側縁には使用痕と思われる微細剝離が見られる。
35	スクレイパー 完形	覆土	5.6	4.8	1.3	35.3	硬質泥岩	両面加工の石器の先端に、片面から調整を加えている。打製石斧の破損品を再加工したものか。
36	凹石 完形	+28 cm	8.5	7.2	3.9	337.2	粗粒安山岩	両面中央部にくぼみと敲打痕がある。両側中央にも敲打痕が認められる。

2 弥生時代住居跡出土遺物

B-5号住居出土遺物 (第54図 P L45)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器 形 ・ 成 形				文 様 ・ 整 形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
				口	底	幅	厚 さ		
1	甕	+4 cm 口縁~胴 上位1/4	18.2					外 口縁部の粘土帯上に指頭圧痕、頸部はナデ、8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位に波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部は斜位のヘラミガキ、頸部はヘラケズリ、胴上位は指ナデ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
2	甕	+9 cm 胴~底部	8.9					外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラナデ。	①粗砂粒を含む。②普通 ③灰白色
番号	器種	出土位置 遺存状態	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴	
			全 長	幅	厚 さ	重 量			
3	スクレイパー 完形	+3 cm	11.7	10.7	5.0	591.7	硬質泥岩	大きく厚い剥片の左側縁から先端の背面に調整を加えている。	
4	石製品? (砥石か)	+10cm	4.9	4.3	4.1	22.6	砥沢石	一部敲打痕が残るが、全体に良く研磨されている。砥石、あるいは何らかの石製品の未製品の可能性あり。	

B-22号住居出土遺物 (第56・57図 P L 46)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
				測定値 (cm・g)					石材	特徴		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計 全長	幅	厚さ	重量	石材	特徴				
1	甕	床密着 ほぼ完形 口縁欠	口(17.4) 高 34.4 底 8.2	底部中央に焼成後の穿孔が一孔ある。胴部は中位で大きく張る。				外 口縁～胴上位波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 横位のヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色 ④甕に転用			
2	甕	床密着 口縁～胴上位	口(15.1)	頸部～口縁にかけて緩やかに外反する。				外 口縁部～胴上位にかけて原体Lの斜縄文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色			
3	甕	床密着 口縁欠 頸～底 $\frac{1}{2}$	底 7.4					外 口縁～胴上部波状文、頸部は10本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴部はヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色			
4	甕	床密着 口縁のみ	口 14.2	口縁部は「く」の字状に外反する。				外 頸部は2連止め簾状文(右回り)、器面が荒れている。 内 横位のヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色			
5	甕	床密着 口縁欠	口 16.8	口縁部は緩やかに外反する。				外 口縁部波状文。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色			
6	小型甕	床密着 口縁欠	底 4.7	内面に粘土紐の接合痕が観察できる。胴部は上位で張る。				外 頸部は3連止め簾状文(右回り)、胴下位縦位のヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色			
7	高坏	床密着 脚部のみ	底(16.5)	内面に粘土紐の接合痕が観察できる。脚部は裾部で大きく広がる。				外 脚部縦位のヘラケズリ後、縦位のヘラミガキ。脚裾部はヨコナデ。 内 脚部ナデ、脚裾部はヨコナデ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色			
8	甕	+7cm $\frac{1}{2}$	口(22.6) 高 12.8 底 5.1	折り返し口縁。底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。				外 縦位のヘラミガキ。 内 縦位のヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③明褐色			
9	磨製石鏃	覆土	(3.4)	1.7	0.25	2.1	頁岩	中央やや下部の両面に未貫通の穿孔がある。脚部以外は、全体に横方向の擦痕が見られる。				

B-23号住居出土遺物 (第59図 P L 46)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
				測定値 (cm・g)					石材	特徴		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計 全長	幅	厚さ	重量	石材	特徴				
1	壺	床密着 $\frac{3}{4}$	底 7.5	胴中位にふくらみをもつ。				外 胴上位～中位に平行沈線文、連続山形文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄褐色			
2	石鏃	床密着 完形	24.7	10.0	1.0	321.0	緑色片岩	薄い素材の全周両面に調整を加える。基部に熱を受けた痕跡が見られる。				

B-28号住居出土遺物 (第62図 P L 46)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
				測定値 (cm・g)					石材	特徴		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計 全長	幅	厚さ	重量	石材	特徴				
1	甕	床密着 口縁部	口 17.5	頸部～口縁部にかけて弓状に外反する。				外 口縁端部ハケメ後ヨコナデ、口縁部～胴上位13本単位の波状文。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい赤褐色			
2	甕	+3cm 口～胴上位 $\frac{1}{2}$	口(15.7)	頸部～口縁部にかけて弓状に外反する。				外 口縁端部ヨコナデ、口縁部縦位のヘラミガキ。頸部以下波状文。 内 口縁部ヘラミガキ、頸部以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色			
3	甕	+8cm 胴～底部	底 6.8					外 ヘラケズリ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色			

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
4	鉢	+2cm ほぼ完形	口 17.8 高 11.7 底 6.9	体部は外傾、逆台形を呈する。	外 口縁部はヨコナデ、体部はヘラミガキ。 内 横位のヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
5	鉢	+7cm 底部	底 4.2	底部は上げ底。	内外面・底部赤色塗彩、内外面ヘラケズリ。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤色	

B-29号住居出土遺物 (第65~67図 P L 46・47)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考	
1	甕	床密着 口縁~胴 上位	口(16.4)	頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部はナデ後ヘラミガキ、一部ハケメあり、頸部は6本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位に2~4連止めの簾状文。間に同一工具で櫛描斜走文を短く施文。以下ナデ後ヘラミガキ。 内 縦位のナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい褐色		
2	甕	+6cm 口縁~胴 上位	口 21.9	頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は7本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
3	甕	床密着 口縁~胴 上位	口 16.8	多段口縁。	外 口縁部ヘラケズリ後ヘラミガキ、粘土帯上に指頭圧痕あり。胴上位は波状文。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③暗赤褐色		
4	甕	+11cm 底部	底 15.7	底部に木葉痕が観察できる。	外 胴下位~底部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面の剥落著しい。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄色		
5	甕	+24cm 底部	底 9.4	底部に木葉痕が観察できる。	外 胴下位~底部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
6	鉢	-9cm 完形	口 13.7 高 6.7 底 3.7	体部は直線的に開く。	内外面赤色塗彩、口縁部内外面ヨコナデ、体部ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
7	鉢	+10cm 欠	口(14.2) 高 5.7	口縁に焼成後の穿孔が一孔ある。体部内湾。	外 赤色塗彩痕、口縁部ヨコナデ。 内外面、器面の荒れが著しい。	①砂粒を含む。②普通 ③にぶい橙色		
8	高坏	+10cm 脚部	底 7.4	脚部は、「ハ」の字状に開く。	外 縦位のヘラミガキ。 内 ナデ、脚部はヨコナデ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③浅黄褐色		
9	甕	+18cm 頸部片			外 頸部~胴上位に櫛描横羽状文+簾状文。	①粗砂粒を含む。②やや堅緻 ③橙色		
10	甕	+5cm 口縁部片		口縁部に接合痕。	外 口縁部ヨコナデ、頸部波状文。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③にぶい赤褐色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
11	磨石	覆土 完形	21.6	17.4	5.2	2635.0	硬質泥岩	自然面の部分に一部擦痕が見られる。剥片を剥離した痕跡もあり、石核の転用の可能性あり。
12	二次加工のある剥片	+3cm 完形	12.9	11.0	3.5	486.9	変質安山岩	素材剥片の打面部と先端中央に、それぞれ両面からの調整によってえぐりを作成。
13	スクレイパー	覆土	4.8	4.2	2.0	39.9	赤色珪質岩	素材の先端腹面側に、急角度の調整を加え、刃部を作成。

B-31号住居出土遺物 (第69・70図 P L 47)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	壺	+8cm ほぼ完形	口 15.2 高 19.8 底 5.3	胴中位でふくらみをもつ。	外 口縁部ヘラミガキ、波状文、頸部は2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下横位のヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色	

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
2	壺	床密着 口縁部欠	底 7.8	最大径は胴下位にある。	外 頸部は2連止め簾状文、胴上位波状文、以下8本単位の2連止め簾状文(右回り)胴下位はヘラミガキ。 内 胴部はヘラミガキ。頸部に指頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③灰白色
3	壺	+11 cm 口縁欠	口 15.8 高 17.5 底 5.8		外 赤色塗彩、頸部は2連止め簾状文(右回り)胴部ヘラミガキ。器面の剥落著しい。 内 口縁部は赤色塗彩、器面の剥落著しい。	①赤色粒、粗砂粒を含む。 ②やや軟弱 ③赤色
4	甕	床密着 ほぼ完形	口 16.8 高 20.1 底 7.0	口縁部は弓状に外反する。 最大径は口縁部にある。	外 口縁～胴上位は波状文。 内 頸部～胴上位ヘラケズリ後ヘラミガキ。以下ヘラナデ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色
5	甕	床密着 口縁～頸部	口(14.7)	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反、端部でやや内湾する。	外 口縁部は波状文、頸部2連止め簾状文(右回り)、以下波状文。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色
6	甕	+3 cm 口縁～胴上位	口(13.6)	口縁部は弓状に外反する。 最大径は胴上位にある。	外 口縁部ヘラミガキ、端部はヨコナデ、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色
7	甕	床密着 胴～底部	底 6.8		外 胴～底部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。②普通 ③明赤褐色
8	甕	床密着 胴～底部	底 6.5		外 胴上位に波状文、以下ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。指頭圧痕あり。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色
9	甕	床密着 口縁～胴部	口(15.8)	口縁は弓状に外反し、端部で内湾気味に立ち上がる。	外 口縁から胴上位7本単位の波状文、以下ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや軟弱 ③にぶい赤褐色
10	鉢	床密着 %	口 12.6 高 5.5 底 3.7	体部～口縁部はやや内湾して開く。	外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色
11	鉢	床密着 口縁一部欠	口(12.6) 高 6.0 底 3.3	体部は内湾する。底部はわずかに直立する。	外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色
12	鉢	床密着 口縁一部欠	口(11.2) 高 3.5 底 2.4	体部は内湾する。	外 口縁は内外面ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色
13	壺?	+16 cm 胴部片		穿孔が2孔ある。	外面は赤色塗彩、内外面ヘラミガキ。火を受けている。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③赤色

B-32号住居出土遺物(第73図 PL 47・48)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
1	大型壺	床密着 頸～胴上位		胴部内面に粘土帯接合痕が観察できる。	外 頸部は簾状文、以下波状文、縦位のヘラミガキ。器面が荒れている。 内 器面が荒れている。指頭圧痕あり。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
2	大型壺	床密着 頸～底部	底 10.6		外 頸部は右回り2連止め簾状文、胴上位は波状文、胴下位は縦位のヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。内外面器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②軟弱 ③橙色
3	甕	+36 cm 胴部			外 胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③橙色
4	甕	+21 cm 口縁欠	口(21.0)	口縁は端部で強く外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り)以下波状文。 内 口縁端部はヨコナデ、以下ヘラミガキ、頸部以下ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色
5	甕	+6 cm 頸部片			外 頸部は2連止め簾状文(右回り)、以下櫛描斜走文を施す。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
6	壺	覆土 口縁部片		口縁端部に焼成前の小円孔が2孔ある。	外 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
7	高坏	+47 cm 坏部片			内外面赤色塗彩。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色	

B-33号住居出土遺物 (第75図 P L 48)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	甕	床密着 口縁～胴	口 17.3	口縁は緩やかに外反する。	外 口縁部はナデ後波状文、頸部～胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色	

B-36号住居出土遺物 (第77図 P L 48)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	壺	+8 cm 胴下位～ 底部	底 7.0		外 連弧文の中にLR縄文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄橙色	
2	小型壺	床密着 %	口 9.1 高 8.2 底 4.9	口縁部は直状に立ち上がる。	外 口縁部は山形文、胴上位ヘラケズリ後ヘラミガキ。底部ヘラミガキ。 内 ナデ。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
3	壺	+4 cm 口縁部片			外 横沈線文、最下部の沈線間にヘラの刻み。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明黄褐色	

B-39号住居出土遺物 (第79図 P L 48)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	甕	+7 cm 口縁部%	口(16.0)	口縁部は緩やかに外反する。	外 口縁部に縦位のヘラケズリ。頸部波状文。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色	
2	大型壺	+8 cm 胴下位～ 底部%	底 11.3		外 縦位のヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 横位ヘラナデ後、ヘラミガキ。 内外面ともに器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③淡橙色	

B-51号住居出土遺物 (第81～83図 P L 48・49)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	甕	床密着 完形	口 19.2 高 35.3 底 8.8	口縁は緩やかに外反する。 最大径は胴中位にある。	外 頸部は7本単位の右回り2連止め簾状文、胴上位波状文、胴下位～底部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
2	壺	床密着 口縁部欠	口(21.0) 高 26.0 底 9.4		外 口縁部は縦位のヘラミガキ、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラミガキ。器面荒れている。 内 口縁部ヘラミガキ。器面の剝落著しい。	①砂粒を含む。 ②軟弱 ③にぶい橙色	
3	壺	床密着 胴上位～ 底部	底 11.3		外 胴上位に波状文の痕跡あり。胴中位～下位はヘラミガキ。器面が荒れている。 内 器面の剝落著しい。	①砂粒を含む。 ②普通 ③淡橙色	

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
				計	測 値 (cm・g)					
番号	器種	出土位置 遺存状態	全長	幅	厚さ	重量				
4	甕	床密着 頸～底部 %	底 8.8					内外面とも器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③橙色	
5	甕	+5cm 口縁～頸 部%	口(17.8)					外 頸部は9本1単位の2連止め簾状文(右回り)、以下波状文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄橙色	
6	甕	床密着 胴～底部	底 7.5					外 縦位のヘラミガキ。 内 ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色	
7	甕	+11cm 口縁～底 部%	口(17.8) 高 29.4 底 8.8					外 頸部8本単位の2連止め簾状文(右回り)、口縁・胴上位波状文、以下ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄橙色	
8	甕	床密着 胴部%	胴(28.0)					外 ヘラミガキ。 内 指頭圧痕あり、ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄橙色	
9	甕	覆土 底部%	底(9.0)				木葉痕が観察できる。	外 ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。②普通 ③浅黄橙色	
10	高坏	床密着 接合部					坏部と脚部の接合部のホゾが観察できる。	外 赤色塗彩。	①細砂粒を含む。②堅緻 ③浅黄橙色	
11	石鍬	+30cm	12.8	7.8	4.6	711.8	変玄武岩	大きな剝離を加えた後、細かな剝離によって両側を整えている。		

B-59号住居出土遺物(第86・87図 P L 49)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
				計	測 値 (cm・g)					
番号	器種	出土位置 遺存状態	全長	幅	厚さ	重量				
1	壺	床密着 口縁部～ 胴上位	口 22.5					外 頸部は右回り2連止め簾状文。 内 口縁部はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい褐色	
2	甕	床密着 口縁～胴 上位	口 17.8					外 口縁端部ヨコナデ、口縁部縦位のヘラミガキ、頸部は10本単位の右回りの簾状文(止めは間隔が不規則で数カ所に2連止めが見られる)胴上位波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
3	台付甕	+2cm 口縁～胴 上位	口(21.7)					外 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、胴上位はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
4	甕	床密着 口縁～胴 上位	口 15.0					外 口縁端部ヨコナデ後波状文、口縁部ナデ、頸部～胴上位にかけて波状文。 内 口縁部はナデ後ヘラミガキ、頸部以下胴上位にかけてナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色	
5	甕	床密着 胴下位～ 底部	底 8.8					外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ。底部は器面の剝落著しい。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色	
6	台付甕	+4cm 口縁～胴 部	口 16.7					外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は10本単位の2連止め簾状文(右回り)、施文後以下波状文、ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、頸部～胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
7	鉢	+5cm %	口 15.5 高 6.5 底(3.8)					外 口縁部ヨコナデ、体部縦位のヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
8	高坏	+5cm 坏部						内外面赤色塗彩、外面は縦位のヘラミガキ、内面は器面の剝落が著しく、赤色塗彩は僅かに残るのみである。ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤色	

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形			文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
				計	測 値 (cm・g)			石 材	特 徴		
番号	器種	出土位置 遺存状態	全 長	幅	厚 さ	重 量					
9	高坏	+8cm 脚部	底 9.2	脚部は「ハ」の字状に外開し、裾部でやや開く。			外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 坏部は赤色塗彩、脚部ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色			
10	甌	+8cm 底部	底 4.8 孔 1.7	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。			外 指頭圧痕あり、ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③暗褐色			
11	蓋	+10cm 1/4	つまみ 2.5 径 6.5 高 2.3	内外面共に輪積み成形痕が明瞭に残る。			外 つまみ部、蓋部ともに成形の際の指頭圧痕が観察できる。 内 つまみ部、蓋部ともに指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色			
12	スクレイパー	+15cm 完形	8.0	10.8	1.8	163.3	硬質泥岩	横長の剝片の先端の両面に調整を加え、刃部を作出している。			

B-60号住居出土遺物 (第91・93~97図 P L 49~51)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形			文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
				計	測 値 (cm・g)			石 材	特 徴		
番号	器種	出土位置 遺存状態	全 長	幅	厚 さ	重 量					
1	大型甕	床密着 底部欠損 1/4	口 22.3 高 (69.8)	頸部~口縁にかけて「く」の字状に外反する。最大径は胴中位にある。			外 口縁部はヘラケズリ後ヘラミガキ、頸部は8本単位の3・4連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色			
2	大型甕	+38cm 頸部~胴上位					外 頸部は11本単位2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 頸部に指頭圧痕、器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色			
3	甕	+26cm ほぼ完形	口 20.3 高 36.3 底 (10.2)	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。口縁端部でやや内湾する。胴中位で大きく張る。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部はナデ後ヘラミガキ、頸部~胴上位は8本単位の波状文、胴上位~下位はヘラミガキ、底部ナデ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、胴部はヘラケズリ後ヘラミガキ	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色			
4	甕	+17cm ほぼ完形	口 16.8 高 24.6 底 6.5	頸部~口縁にかけて、緩やかに外反する。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部縦位のヘラミガキ、頸部は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部~胴上位ヘラミガキ、胴下位は器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色 ④外面スス付着、2次に火を受け、器面が荒れている。口縁部のゆがみも著しい。			
5	甕	+22cm 口縁・胴部一部欠	口 16.6 高 23.6 底 6.5	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部はヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁~胴下位は棒状工具による調整後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色 ④スス付着、部分的に器面の剝落著しい。			
6	甕	+43cm 口縁~胴部1/4	口 (18.8)	頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。胴部内面に接合痕が観察できる。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部縦位のヘラミガキ、頸部~胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラナデ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色			
7	甕	+18cm 口縁~胴上位	口 22.3	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り)、以下波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ後ナデ、頸部以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色			
8	甕	+25cm 底部欠損	口 (14.4)	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。			外 頸部は波状文、以下ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色			
9	甕	+17cm 口縁~胴上位	口 17.3	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。			外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部~胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ケズリ後ヘラミガキ、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色			

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
10	甕	+10cm 口縁部欠損	底 7.4	胴中位で大きく張る。	外 頸部～胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 胴部はヘラケズリ後ヘラミガキ。胴中に指頭圧痕が観察できる。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい黄橙色		
11	甕	+34cm 口縁～頸部	口 22.8	頸部～口縁部にかけて「く」の字状に外反する。	外 口縁上部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部は7本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下櫛描横羽状文か？ 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①石英粒・砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色 ④2次的に火を受け、器形の歪みが著しい。		
12	甕	+29cm 頸部～胴上位			外 胴上位に波状文を施文後、円形浮文を貼付している。 内 器面が荒れている。	①赤色粒・石英粒・砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
13	小型甕	+35cm ½	口 10.9 高 17.3 底 6.3	口縁部に焼成前の穿孔が1孔ある。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、器面が荒れている。 内 口縁端部ヨコナデ、器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③にぶい赤褐色		
14	小型甕	+34cm ほぼ完形	口 12.9 高 18.3 底 6.4	多段口縁	外 口縁部の粘土帯上に指頭圧痕、胴部はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部～胴下位、ハケメ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
15	小型甕	+27cm 口縁欠損	口(8.9) 高 8.4 底 6.2	最大径は胴中位。	外 頸部は3連止め簾状文(右回り)、胴上位に波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 胴中位に指頭圧痕、胴下位にナデ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③灰褐色		
16	台付甕	+30cm 口縁～胴上位	口(14.9)	成形は粗雑、指オサエによる器面の凹凸が著しい。	外 器面が荒れている。頸部は2連止め簾状文(右回り)2段か？ 内 胴部内面に指頭圧痕、器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
17	台付甕	床密着 台部のみ	底 10.3	台部は「ハ」の字状に外開する。	外 ヘラミガキ、裾部はヨコナデ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ、裾部ヨコナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄橙色		
18	台付甕	+40cm 台部のみ	底 9.1	成形は粗雑、器面の凹凸が著しい。	外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
19	鉢	+22cm ⅔	口(12.5) 高 6.8 底 3.5	体部直線的に外傾し、端部でやや内湾する。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、体部外面はヘラミガキ、内面はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
20	鉢	+25cm 底部	底 4.9		内外面赤色塗彩、体部は内外面ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
21	高坏	+30cm 脚部欠損	口 15.6		外 体部はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 体部はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
22	高坏	+23cm 脚部のみ	底 15.2	脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 縦位のヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
23	高坏	床密着 坏部⅔	口(27.4)	口縁端部で強く外反する。	内外面赤色塗彩、外面ヘラミガキ、内外面とも器面の剥落著しい。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
24	高坏	+31cm 坏部			坏部は内外面赤色塗彩、坏部外面ヘラミガキ、脚部内面はナデ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
25	高坏	+22cm 脚部⅔			外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 ハケメ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
26	高坏	床密着 脚部⅔	底 11.0	脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 ナデ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
27	ミニチュア	+24cm ⅔	底 4.0		外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色		
28	土製紡錘車	+31cm ⅔	外径4.3 孔径1.1	中央部に円孔、面はほぼ平坦。	器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
29	石鎌	床密着 完形	13.5	7.1	2.4	214.2	硬質泥岩	剝片を素材として、全周両面に調整を加える。基部を細身に作出している。
30	石鎌	+23cm 完形	14.2	9.3	2.9	377.5	粗粒安山岩	素材の剝片の全周両面に調整を加える。刃部近くに使用痕と思われる摩耗あり。
31	石鎌	+22cm 完形	10.4	10.0	2.3	291.0	硬質泥岩	素材剝片の打面先端の中央にえぐりが入る。刃部及び裏面のえぐり部に顕著な摩耗が見られる。

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
32	剥片	+11cm 完形	10.2	8.2	1.6	148.7	硬質泥岩	右側縁下半部に、使用痕と思われる微細剝離が見られる。
33	石皿	覆土 ½	35.3	12.7	3.8	2910.0	緑色片岩	周囲がほとんど欠損しているが、偏平な礫をそのまま利用したものと思われる。

B-61 号住居出土遺物 (第 99・100 図 P L 51・52)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	+11 cm 底部欠	口 17.1	口縁は外反する。胴部内面に接合痕が観察できる。	外 赤色塗彩。口縁部～胴中位横ヘラミガキ、頸部は4連止め簾状文(右回り)、胴上位には2～5連の不規則な止めのある簾状文(右回り)、以下ヘラミガキ。 内 赤色塗彩。口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラナデ後ヘラミガキ。一部ヘラケズリあり。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
2	大型壺	+6 cm 頸部～胴上位½		粘土帯接合痕が内面に観察できる。	外 頸部は11本単位2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 器面の剝落著しい。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③橙色
3	小型甕	床密着 ¾	口 11.5 高 11.8 底(4.5)	頸部～口縁部にかけてゆるやかに外反する。	外 口縁～胴上位は原体Rの斜縄文。器面が荒れている。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色
4	小型甕	+6 cm ¾	口 12.5 高 16.9 底 4.5	折り返し口縁。	外 口縁～胴中位は原体L Rの斜縄文。胴下位はヘラミガキ。器面が荒れている。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色
5	甕	+29 cm 頸部～底部½	底(7.1)	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 頸部から胴上位は波状文。以下横位のヘラミガキ、胴下位は縦位のヘラミガキ。 内 横位のヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色
6	小型甕	+21 cm 口縁欠½	底 5.0		外 胴上位は波状文、胴下位ヘラミガキ。 内 ナデ後ヘラミガキ、指頭圧痕あり。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい赤褐色
7	高環	+11 cm 坏部～脚部上位	口(15.8)	体部は直線的に開き、口縁部でやや内湾。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、坏部は内外面ヘラミガキ。脚部はナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
8	高環	床密着 脚裾部欠	口 12.2	脚部は「ハ」の字状に外開する。	口縁部は内外面ヨコナデ、坏部は内外面ヘラミガキ、脚部外面もヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③明赤褐色
9	甕	+31 cm 底部	底(7.3) 孔(2.9)	底部は直状に立ち上がる。底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。	外 底部はヘラケズリ、底部端部はヨコナデ。 内 体部はナデ、底部端部はヨコナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色
10	甕?	+40 cm 底部	底 5.2 孔 1.4	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。	外 指頭圧痕が観察できる。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
11	ミニチュア鉢	覆土 ½	口(6.8) 高 2.5 底(2.8)	成形は粗雑、器形の歪みが目立つ。底は小さな平底。	外 指ナデ。	①白・赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
12	蓋?	床密着 つまみ部			外 縦位のヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
13	勾玉?	覆土 頭部欠損		成形は粗雑。尾部で細まり、尾端部は丸い。	器面に光沢がなく、荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄褐色
14	甕	+32 cm 胴部片			外 上部に波状文あり。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③褐色

B-62 号住居出土遺物 (第 102 図 P L 52)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	+4 cm 口縁部¾	口(18.0)	口縁は受口状に立ち上がる。	外 口縁部は横位のヘラミガキ、以下縦のヘラミガキ、頸部はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄褐色

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
						計	測 値 (cm・g)	石 材
全長	幅	厚さ	重量					
2	壺	+12 cm 口縁部 $\frac{1}{4}$	口(22.7)	口縁は受口状に立ち上がる。	外 口縁部は9本単位の波状文、口縁部はハケメ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
3	甕	+4 cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{4}$	口(12.8)	多段口縁、口縁部内面に接合痕が見られる。	外 口縁部粘土帯上に指頭圧痕が観察できる。頸部は2連止め簾状文(右回り)、以下波状文、横位のヘラミガキ。 内 ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
4	高坏	床密着 坏部 $\frac{3}{8}$	口(15.8)	坏部中位で鋭く屈曲して、口縁部は強く外反する。	外 赤色塗彩。ヘラミガキ。器面の荒れが著しい。 内 赤色塗彩。ヘラミガキ。	①白・赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
5	高坏	床密着 坏部 $\frac{1}{4}$	口(20.0)	坏部中位で屈曲し、口縁部は外反する。	外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
6	高坏	+4 cm 脚部	底(12.9)	脚部で「ハ」の字状に外開する。	外 ヘラミガキ。 内 坏部ヘラミガキ、脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色		
7	高坏	-11 cm $\frac{1}{2}$	口 16.6 高 12.1 底(9.3)	坏部は内湾し、脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 赤色塗彩、坏部ヘラミガキ、脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 坏部赤色塗彩、ヘラミガキ、脚部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③暗赤色		
8	器台	+11 cm 台部	底(10.8) 孔 1.2	脚部に円孔4個穿つ。脚部は「ハ」の字状に大きく外開する。	外 器受部~脚部に貫通孔。ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 脚部はナデ後、ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
9	鉢	+12 cm $\frac{1}{4}$	口(11.1) 高 4.2 底 2.4	体部は僅かに内湾する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ、器面荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
10	ミニチュア 壺	+11 cm $\frac{1}{2}$	口(4.5) 高 4.2 底 2.4	胴中位に最大径、底は平底。	外 頸部は、5本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴部は縦位のヘラミガキ。 内 胴下位に指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
11	甕	+31 cm 頸部片			外 原体LRの斜縄文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
12	甕	床密着 頸部片			外 条痕文か?	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③黒褐色		
13	甕	覆土 胴部片			外 重弧文か?	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色		
14	土製紡錘車	+3 cm $\frac{3}{8}$	外径(8.4) 孔径(1.0)	大型で重量がある。片面は膨らみを持ち、他面は平坦。	片面はヘラケズリ後ヘラミガキがなされ、平滑に磨かれている。他面は器面が荒れており、凹凸が目立つ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色		
15	土製紡錘車	+17 cm $\frac{3}{8}$	外径(5.0) 孔径(0.8)	片面は膨らみを持つ。他面は平坦。	器面が荒れている。片面はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄褐色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計 測 値 (cm・g)			石 材	特 徴	
16	砥石	+4 cm	全長	幅	厚さ			重量

B-75号住居出土遺物 (第105図 PL 52)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考	
						計	測 値 (cm・g)
全長	幅	厚さ	重量				
1	甕	床密着 口縁~胴 上位	口(17.2)	頸部~口縁部にかけて「く」の字状に外反する。胴部内面に接合痕が観察できる。	外 口縁部はヘラミガキ、頸部は9本単位の3連止め波状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄褐色	
2	甕	床密着 口縁~胴 上位	口(23.6)	頸部~口縁部にかけて「く」の字状に外反する。	外 口縁部縦ヘラミガキ、頸部は2連止め簾状文(右回り)、以下波状文、ヘラケズリ後横ヘラミガキ。器面が荒れている。 内 胴部ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色	
3	甕	+21 cm 底部	底 6.4		外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③明褐色	

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
4	礫器	覆土 完形	8.8	7.9	3.5	238.1	硬質泥岩	素材の全周両面に調整が加えられ、ラウンドスクレイパー状を呈する。

B-79号住居出土遺物 (第107図 PL 53)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	甕	+44 cm 口縁部 $\frac{1}{2}$	口(21.7)	折り返し口縁。	外 頸部は右回り3連止め簾状文。 内 器面の剝落著しい。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③にぶい橙色
2	小型甕	+40 cm 胴~底部	底 4.7		外 胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 ナデ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色

B-87号住居出土遺物 (第109・110図 PL 53)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	壺	床密着 口縁~頸部	口 14.4	頸部~口縁部にかけて弓状に外反する。	外 口唇部は原体LRの縄文、口縁部は縦位のヘラミガキ、頸部は沈線2本。 内 口縁部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
2	壺	床密着 胴上位 $\frac{1}{2}$			外 胴上位で櫛描文をクロスし、回りを沈線で区画している。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③灰褐色		
3	壺	床密着 胴部片			外 波状沈線文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄褐色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
4	磨製扁平片刃石斧	+9 cm 完形	7.9	5.1	0.9	70.4	頁岩	剝離によって成形した後、全体を研磨して仕上げている。
5	石鎌	+13 cm 完形	23.7	8.2	2.6	540.2	変玄武岩	全周両面に調整を加える。左側縁にえぐりがあるが、素材の薄い部分であり、意図的かは不明である。
6	石鎌	+1 cm 完形	20.3	8.2	2.6	665.8	変玄武岩	基部を中心に調整を加え、刃部は素材の礫の面を残している。刃部近くに摩耗が見られる。
7	磨製大型蛤刃石斧	覆土上層 完形	19.9	6.8	4.9	1218.1	変輝緑岩	基部に一部敲打痕を残すが、全面丁寧に研磨されている。

B-97号住居出土遺物 (第113図 PL 53)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	甕	床密着 口縁~胴上位	口(24.2)	頸部~口縁部にかけて「く」の字状に外反する。	外 器面が荒れている。胴部ヘラミガキ。 内 胴部に指頭圧痕が観察できる。器面が荒れている。	①赤色粒・粗砂粒を含む。 ②普通 ③黄褐色		
2	鉢	+14 cm $\frac{1}{2}$	口(14.2) 高 6.2 底 4.0	口縁部は内湾する。	外 口縁部ヨコナデ、ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
3	甕	+18 cm 口縁部片		折り返し口縁。	外 口縁端部に指頭圧痕が観察できる。口縁部ミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
4	砥石	+1 cm 完形	14.9	11.7	3.9	832.2	砂岩	表面に2条の溝状のくぼみが見られるが、全体に縦方向の擦痕が観察できる。

B-98号住居出土遺物(第117~119図 P L53・54)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	壺	床密着 口縁部欠損	底 7.3	胴上位に膨らみをもつ	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 頸部まで赤色塗彩、胴部はハケメ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③赤色 ④2次的に火を受けた痕跡。		
2	壺	+26cm 口縁～胴上位 $\frac{1}{4}$	口(15.3)	頸部～口縁部にかけて弓状に外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部は10本単位の右回り2連止め簾状文、胴上位は横羽状文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
3	甕	床密着 頸部～胴上位 $\frac{1}{4}$	胴 15.5	内面に接合痕が観察できる。	外 頸部は8本単位の右回り2連止め簾状文。胴上位は横羽状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
4	甕	床密着 口縁～胴上位	口 19.1	頸部～口縁端部にかけて弓状に外反する。	外 口縁端部はヨコナデ、以下ナデ後ヘラミガキ。頸部は8本単位のやや不規則な2連止め簾状文(右回り)。胴上位は波状文、以下ナデ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。胴上位ヘラケズリ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
5	甕	覆土 口縁～胴上位		多段口縁、最大径は口縁と胴部ではほぼ同じ。	外 口縁部粘土帯上に指頭圧痕、頸部～胴上位は原体RLの斜縄文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色		
6	甕	+14cm 口縁～胴上位 $\frac{1}{4}$	口(19.5)	頸部～口縁部にかけて「く」の字状に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。頸部は2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 胴部に指頭圧痕、器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色		
7	鉢	+16cm 完形	口 13.6 高 6.8 底 3.5	口縁を片口状に欠く。体部は直線的に外開して、口縁端部で内湾。	外 口縁部ヨコナデ、体部はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色		
8	鉢	+22cm $\frac{1}{4}$	口(11.6) 高 5.1 底 3.8	体部は緩やかに内湾する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。底部の器面の剥落著しい。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
9	鉢	床密着 $\frac{1}{4}$	口 14.5 高 5.7 底 4.0		外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色		
10	鉢	+27cm $\frac{1}{4}$	口(11.9) 高 7.5 底 4.8	逆台形状を呈し、口縁端部はやや内湾する。	外 口縁端部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
11	鉢?	-8cm $\frac{1}{4}$	口(13.4)	体部で屈曲し、直立気味に立ち上がる。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
12	高坏	+3cm 脚部	底 12.2	脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。脚部ヨコナデ。 内 ヘラケズリ、脚部ヨコナデ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
13	甕	+18cm 頸部片			外 頸部は3連止め簾状文(右回り)、以下横羽状文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄橙色		
14	器種不明	一部分		注口状の突起部を持つが、小円孔は貫通しない。	一部のみであるために遺物の性質は明らかでない。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③褐灰色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
15	石包丁	覆土 $\frac{1}{2}$	(6.4)	3.4	0.5	14.0	珪質頁岩(中・古生層)	両面から穿孔。刃部片面には使用痕と思われる鋭い光沢が見られる。
16	礫器	+29cm 完形	15.0	12.7	5.2	1034.3	硬質泥岩	薄い礫の両面のほぼ全周に、剥離が加えられる。石鍬などの未製品か?
17	剥片	覆土	11.7	4.6	2.7	108.2	硬質泥岩	右側縁に小さな刃こぼれ状の剥離が見られる。
18	打製石鏃	+25cm 一部欠損	(1.6)	(1.1)	0.2	0.4	黒曜石	全面が入念に調整が加えられる。脚部欠損。
19	打製石鏃	+25cm 完形	1.8	1.4	0.3	0.5	チャート	全面に入念に調整が加えられる。やや小型で脚部が長い。

2 弥生時代住居跡出土遺物

B-99 号住居出土遺物 (第 124~127 図 PL 54・55)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	+8 cm 口縁部 $\frac{1}{2}$	口(21.5)	受口状口縁	外 口縁端部はヨコナデ、以下ハケメ後ヘラミガキ。 内 口縁端部はヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色
2	壺	+40 cm 口縁~胴 下位 $\frac{1}{2}$	口(11.4)	頸部~口縁にかけて、緩やかに外反する。胴下位内面に接合痕。	外 口縁端部はヨコナデ、以下ヨコナデ後ヘラミガキ。頸部は簾状文? 胴上位横羽状文、以下ヘラミガキ。口縁部に指頭圧痕あり。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色
3	壺	+49 cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口 27.3		外 胴上位はヘラミガキ。 内外面とも器面の荒れが著しい。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③橙色
4	甕	貯蔵穴上 部 ほぼ完形	口 19.9 高 29.8 底 8.3	胴中位に最大径。	外 口縁部はハケメ後ヘラミガキ。頸部~胴上位は 10 本単位の波状文、以下ハケメ後ヘラミガキ。底部に指頭圧痕が観察できる。 内 口縁部はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
5	甕	覆土 口縁~胴 上位		頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 頸部・胴上位に 9 本単位の 3 連止め簾状文(右回り)、間に横羽状文。胴部簾状文の下はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③淡橙色
6	甕	+40 cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(24.8)	頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部ヘラミガキ。頸部~胴上位波状文。 内 頸部に指頭圧痕が観察できる。 内外面とも器面の荒れが著しい。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②軟弱 ③橙色
7	甕	+20 cm 口縁~頸 部 $\frac{1}{2}$	口 17.5	頸部~口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部は波状文、頸部は 10 本単位の 3 連止め簾状文(右回り)、以下波状文。 内 口縁~頸部はヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色
8	甕	+48 cm 頸部~胴 上位			外 頸部ヨコナデ、胴上位は波状文。 内 ナデ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色
9	甕	+39 cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(18.9)	頸部~口縁にかけて弓状に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は 10 本単位の 3 連止め簾状文(右回り) 胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部はヨコナデ、以下ヘラミガキ。胴上位はナデ後ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
10	甕	床密着 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(12.2)	多段口縁。	外 口縁部粘土帯上に指頭圧痕が観察できる。頸部~胴上位原形 L R の斜縄文。 内 口縁部はヘラミガキ、胴部ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色
11	甕	+45 cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(13.1)	多段口縁。	外 口縁部はヨコナデ後ヘラミガキ、粘土帯上に指頭圧痕もあり、頸部~胴上位 7 本単位の波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部はヨコナデ後ヘラミガキ、胴部はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
12	壺	+45 cm 頸部~胴 部			外 頸部及び胴上位には 11 本単位の右回りの簾状文(部分的に不規則な止めが入る)、間に同一工具による横羽状文。胴部簾状文下にヘラミガキ。 内 ヘラナデ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③淡橙色
13	小型甕	+37 cm 口縁~胴 上位	口 9.2	頸部~口縁にかけて緩やかに外反する。	外 口縁部は内外面ヨコナデ、頸部~胴上位原形 R L の縄文、以下ヘラミガキ。 内 胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③淡赤褐色
14	小型甕	+46 cm 口縁~胴 下位 $\frac{1}{2}$ 欠	口 9.5 高 12.1 底 4.2	多段口縁。	外 口縁部粘土帯上に指頭圧痕、頸部~胴上位に原形 R の斜縄文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。胴部に指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい赤褐色

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
15	台付甕	+41 cm 口縁～台 部上位	口(14.0)	口縁部外面に接合痕、胴部 内外面に指頭圧痕が観察で きる。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は8本単位の2 連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以 下ヘラケズリ後ヘラミガキ、胴下位に指頭 圧痕が観察できる。 内 口縁部ヨコナデ、胴下位に指頭圧痕が 観察できる。器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
16	台付甕	+45 cm 台部	底 7.9	台部は「ハ」の字状に外開、 内面に接合痕。	外 ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色	
17	鉢	+23 cm ⅔	口(12.8) 高 5.4 底 3.9	体部は内湾気味に立ち上 がる。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、 体部外面ヘラミガキ、体部内面ヘラナデ後 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤色	
18	鉢	+3 cm ⅔	口(13.8) 高 7.1 底 3.8	体部は内湾気味に立ち上 がる。	外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
19	鉢	+23 cm 完形	口 12.6 高 5.5 底 3.6	体部は内湾気味に立ち上 がる。	外 口縁部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。器 面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色	
20	高坏	+34 cm 坏部⅓	口(16.5)	口縁は短く外反する。坏部 中位に屈曲を有する。	外 口唇部刻み痕、口縁部ヨコナデ、坏部 ヘラケズリ後ヘラミガキ、脚部ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、坏部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄褐色	
21	高坏	+40 cm 坏部⅓欠	口(18.2) 高 13.8 底 9.7	多段口縁。	外 口縁部ヨコナデ、粘土帯上に指頭圧痕、 坏部ヘラミガキ、脚上位ヘラナデ後ヘラミ ガキ、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、坏部・脚部ヘラミガ キ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
22	高坏	貯蔵穴内 -14 cm 坏部	口 10.2	坏部は内湾気味に立ち上 がる。	内外面赤色塗彩。内外面とも口縁部ヨコナ デ、坏部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③淡橙色	
23	甕	+49 cm 底部	底 6.0 孔径1.8	上げ底状、底部中央に焼成 前の穿孔がある。	内外面ヘラミガキ、底面はヨコナデ後ヘラ ミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③浅黄褐色	
24	甕	覆土 底部	底(5.0)	底部に内から外にあげた焼 成前の円孔多数。	内外面ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
25	甕?	+36 cm 底部	底 4.1 孔径0.8	底部上げ底、中央に焼成前 の穿孔がある。	体部内面ヘラミガキ、底部は内外面ヨコナ デ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
26	壺	+52 cm 口縁部片		受口状口縁。	口縁端部は原体LRの斜縄文、以下内外面 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③黄褐色	
27	甕	+36 cm 口縁部片			口縁部～胴上位原体LRの斜縄文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③褐色	
28	甕	+35 cm 口縁部片			口縁部～胴上位波状文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
29	甕	覆土 口縁部片		多段口縁。	口縁部粘土帯上に指頭圧痕が観察できる。 頸部～胴上位波状文。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
30	甕	覆土 口縁部片			口縁部原体LRの斜縄文。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色	
31	甕	+35 cm 口縁部片		折り返し口縁、2段。	口縁外面の粘土帯上に指頭圧痕が観察でき る。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
32	甕	+57 cm 口縁部片			口縁部波状文、頸部以下に櫛描斜走文。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色	
33	甕	+57 cm 頸部片			口縁部はヘラミガキ、頸部は8本単位の3 連止め簾状文(右回り)、以下横羽状文。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色	
34	甕	+41 cm 口縁部片			口唇部に刻み目。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい褐色	
35	甕	+1 cm 胴部片			原体Lの斜縄文。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい黄褐色	
36	鉢	+29 cm ⅔			内外面赤色塗彩。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤色	
37	片口	覆土 口縁部片			内外面赤色塗彩。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色	
38	注口土器 弥生?	+31 cm 注口部?		元部は太く、先が細くなる。	注口接合部で剥離、注口部丁寧なヘラミガ キ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
39	土製紡錘車	覆土 1/2	外径4.0 孔径0.6	小型、片面は丸く膨らみ、 他面は平坦。				凸面はヘラケズリ。	①砂粒を含む。	②普通 ③橙色
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴		
			全長	幅	厚さ	重量				
40	石鎌	+8 cm 完形	10.0	9.0	2.2	244.5	硬質泥岩	両側中央にえぐりが入る。刃部付近及び中央部の稜上に摩耗が見られる。		
41	砥石	+59 cm 一部欠損	18.3	17.2	5.7	2670.0	砂岩	両面全体に弱い研磨の痕跡が見られる。		
42	砥石	+50 cm 完形	16.3	6.0	4.6	732.7	砂岩	主に片面(表側)に研磨の痕跡が見られる。		
43	砥石	+45 cm 完形	13.0	12.3	6.8	1492.7	砂岩	両面全面に研磨の痕跡が見られるが、方向は一定ではない。		
44	打製石鎌	覆土 一部欠損	(2.0)	1.4	3.0	1.0	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。先端と脚部を一部欠く。		

B-101号住居出土遺物(第129・130図 PL 55)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	甕	+19 cm 口縁～頸部 1/2	口(17.1)	頸部～口縁部にかけて「く」 の字状に外反する。				外 口縁端部ヨコナデ後波状文、以下ヘラケズリ、頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③灰赤色	
2	甕	+8 cm 胴部～底部	底 6.7					外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 横位のヘラケズリ後縦位のヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色	
3	甕	+26 cm 口縁～胴上位 1/2	口(14.3)	口縁は緩やかに外反する。				外 口縁端部ヨコナデ、口縁部はハケメ後ヨコナデ、以下ハケメ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ハケメ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
4	甕	+22 cm 口縁部片	口(19.8)					外 口縁端部9本単位の波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部右回り簾状文。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
5	土製紡錘車	+1 cm 1/2	外径4.6 孔径0.5	片面は緩く膨らみ、他面は ほぼ平坦。				ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴		
			全長	幅	厚さ	重量				
6	石鎌	+21 cm 完形	10.8	6.4	1.5	138.7	灰色安山岩	両側中央部にえぐりが入る。ほぼ全面に摩耗が見られる。		
7	石鎌	+30 cm 1/2	(10.9)	11.6	1.7	322.5	変質安山岩	刃部破片。薄い素材の周辺両面に調整を加えている。		

B-105号住居出土遺物(第133図 PL 55)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形				文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	鉢	+12 cm 底部	底 4.2					内外面赤色塗彩、内外面ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色	
2	高坏	+13 cm 坏部片	口(22.6)					内外面赤色塗彩、内外面ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③暗赤色	
3	甕	床密着 口縁部片		折り返し口縁。				内外面ハケメ、外面は口縁端部に刻み目、波状文あり。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	

B-106号住居出土遺物(第137・138図 PL56)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	壺	床密着 口縁～胴 上位	口 22.5	口縁部は端部で受け口状に 立ち上がる。	外 口縁端部ヨコナデ、波状文、以下ハケ メ後ヘラミガキ。胴上位には楕円斜走文が 施され、その後頸部に8本単位の2連止め 簾状文(右回り)を施文、斜走文の下に波 状文を施す。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
2	甕	+3cm 口縁～胴 上位	口 20.2	頸部～口縁にかけて、「く」 の字状に外反する。	外 口縁部は波状文、頸部は8本単位の3 連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文。 内 口縁部ヘラミガキ、胴上位はヘラケズ リ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
3	甕	+2cm 口縁～胴 部	口 14.0	頸部～口縁にかけて、「く」 の字状に外反、端部でやや 直立気味になる。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁・胴上位に原 体LR斜縄文。頸部はナデ、口縁端部に原 体r燃糸(原体の端部に巻き付けたものか) 内 口縁端部ヨコナデ、胴部はヘラケズ リ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色 ④火を受け一部赤化		
4	甕	+4cm 口縁部片	口(19.0)	口縁部は緩やかに外反す る。	外 口縁部～頸部には原体LRの斜縄文が 施されている。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
5	台付甕	+5cm ほぼ完形	口 12.4 高 15.0 底 9.7	底部外面に粘土貼付による 補修痕が観察できる。	外 口縁部ヨコナデ、波状文、頸部は9本 単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波 状文、胴下位はヘラミガキ、台部はヘラケ ズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、胴部に指頭圧痕あり、 ナデ後ヘラミガキ、台部上部にヘラケズリ、 台部中位に指頭圧痕、裾部はヨコナデ、浮 文を1箇所貼付している。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
6	鉢	+46cm 片	口(14.0) 高 6.3 底 4.0	口縁部は内湾する。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、 体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、体部内 面はヘラミガキ、内面の底部付近は剝離し ている。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
7	高坏	+9cm 脚部	底(13.0)	脚部は「ハ」の字状に外開、 内面に接合痕。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③赤色		
8	甕	+30cm 口縁部片			外 原体Lの斜縄文。	①砂粒を含む。②普通 ③にぶい黄褐色		
9	小型甕	覆土 口縁部片			口唇部原体LRの縄文、口縁部は内外面ヨ コナデ、頸部は簾状文、以下波状文。	①砂粒を含む。②堅緻 ③明赤褐色		
10	甕	覆土 胴部片			円形浮文を貼付。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③にぶい橙色		
11	土製紡錘車	覆土 片	外径5.4 孔径0.7	両面とも中央に膨らみをも つ、中央部穿孔。	上面、側面赤色塗彩、ヘラケズリ後丁寧な ヘラミガキ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③赤色(灰白色)		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
12	石鎌	+13cm 完形	18.2	8.7	1.9	449.6	緑色片岩	素材の全周両面に調整加える。刃部が横に張り出す。刃部近くに 摩耗がある

B-107号住居出土遺物(第141・142図 PL56)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考	
1	甕	+9cm 口縁～胴 上位	口(17.0)	口縁は緩やかに外反する。 胴中位で大きく膨らむ。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部～頸部ヘラ ミガキ、胴上位は9本単位の波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部～頸部ヘラ ミガキ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色	
2	甕	+14cm 口縁～胴 上位	口 17.5	頸部～口縁部にかけて弓状 に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部は縦位のヘ ラミガキ。頸部は11本単位2連止め簾状文 (右回り)、胴上位は波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、 胴上位はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③淡橙色	

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
3	甕	+31 cm 口縁～胴 上位	口(13.5)	頸部～口縁部にかけて緩やかに外反する。	外 頸部は右回り10本単位の2連止め簾状文。器面は内外面荒れている。 内 胴部はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい褐色	
4	甕	+14 cm 口縁～胴 上位			外 頸部には9本単位の2連止め簾状文(右回り) 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①赤色粒・粗砂粒を含む。 ②普通 ③暗赤褐色	
5	台付甕 (小型)	ピット内 覆土 台部欠	口 8.1		外 口縁部は波状文、頸部に簾状文、以下波状文。 内 頸部～胴部ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
6	台付甕 (小型)	ピット内 覆土 台部	底 6.4	台部は「ハ」の字状に外開して、裾部で広がる。	外 台部ヘラケズリ後ヘラミガキ。裾部ヨコナデ。 内 裾部ヨコナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
7	甕	覆土 底部	底 5.0	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。	外 ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色	
8	高坏	+20 cm 1/4	口(17.2) 高(13.1) 底(11.6)	坏部は内湾気味に立ち上がる。脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 赤色塗彩、坏部ヘラミガキ、脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 坏部赤色塗彩、ヘラミガキ、脚部はハケメ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色	
9	甕	ピット内 胴部片			外 右回り2連止め簾状文、胴上位は櫛描横羽状文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色	

B-108号住居出土遺物(第146～148図 P L 56～58)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
1	大型壺	+28 cm 頸～底部	底 17.0		外 ヘラミガキ 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③灰白色	
2	壺	+9 cm 口縁～胴 上位	口(21.0)	頸部～口縁部にかけて「く」の字状に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り) 胴上位は同一工具使用の櫛描横羽状文。 内 ヨコナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
3	甕	床密着 口縁～胴 上位	口 14.0	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。胴部内面に接合痕が観察できる。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り) 胴上位波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③暗褐色	
4	甕	+16 cm 口縁～胴 上位	口(24.4)	頸部～口縁にかけて、緩やかに外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部に7本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位に波状文を施文後、垂下文2条により、縦割り区画されている。以下はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
5	甕	+22 cm 口縁～胴 上位	口 15.7	口縁は端部でやや内湾する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は右回りの2連止め簾状文(やや波状文的)、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁端部はヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色	
6	甕	+18 cm 胴下位～ 底部	底 9.8		外 胴下位ヘラケズリ後ヘラミガキ。底部はナデ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい黄褐色	
7	甕	+9 cm 胴部～底 部	底 7.6		外 胴上位は横位のヘラミガキ、胴下位は縦位のヘラミガキ。 内 指頭圧痕、ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
8	台付甕	+17 cm 台部欠	口 10.3	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文。 内 口縁部ヨコナデ。内外面の荒れ著しい。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色	
9	台付甕	+22 cm 口縁部欠	底 8.3	台部は「ハ」の字状に外開する。	外 頸部は右回り2連止め簾状文、胴上位は波状文。 内 指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②普通 ③淡橙色	
10	鉢	+9 cm 1/4	口(14.4)		外 口縁部ヨコナデ、体部はヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部はヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
11	鉢	+23 cm 口縁部欠	底 2.9	底部は小さい。	外 内外面器面の荒れが著しい。内面に赤色塗彩痕が残っている。内面ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石 材	特 徴	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			法量(cm)	全長	幅	厚さ			
12	鉢	覆土 ㄥ	口(12.1) 高 5.2 底 4.0	体部は直線的に外傾して、口縁は直立気味に立ち上がる。				外 口縁部ヨコナデ、体部ナデ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色
13	高坏	床密着 脚部一部 欠損	口 17.1 高 18.4 底(15.3)	坏部は口縁部で直立気味に立ち上がる。脚部に接合部の棒状のホゾが観察できる。				外 赤色塗彩、口縁部ヨコナデ、坏部ヘラミガキ、脚部はハケメ後ヘラミガキ。 内 坏部赤色塗彩、口縁部ヨコナデ、坏部ヘラミガキ。	①石英粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
14	高坏	+3cm 坏下半～ 脚上半						内外面赤色塗彩、外面は坏部～脚部にかけてヘラミガキ、内面は坏部ヘラミガキ。	①赤色・石英・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
15	高坏	+17cm 坏部ㄥ	口(23.7)					内外面赤色塗彩、外面は器面の荒れが著しい。内面ヘラミガキ。	①赤色・石英・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
16	甕	+23cm 底部	底 4.8 孔 2.4	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。				外 器面の剝落著しい。 内 ナデ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色
17	甕	+27cm 底部	底 5.3 孔 1.9	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。				外 ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
18	ミニチュア 鉢	+15cm ほぼ完形	口 7.7 高 4.2 底 2.0	指オサエによる器面の凹凸が目立つ。				外 指頭圧痕が観察できる。体部ヘラケズリ。 内 指ナデ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色
19	壺	覆土 口縁部片		端部で直立気味に立ち上がる。				外 縦方向に3条の突帯をつける。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
20	甕	+28cm 胴部片						外 原体LRの斜縄文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい赤褐色
21	甕	+31cm 底部ㄥ	底 6.5	底部両面に未貫通の円孔がある。					①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色
22	土製紡錘車	+29cm 完形	外径5.4 孔径0.6	両面ともほぼ平坦。円孔は中心からやや外れている。				ヘラミガキにより器面は滑らかである。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色
23	土製紡錘車	+23cm 完形	外径5.5 孔径0.8	両面ともほぼ平坦。円孔は中心からややずれている。				全面に赤色塗彩を施している特殊な土製紡錘車である。上面はヘラケズリ後丁寧なヘラミガキにより器面は滑らかである。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石 材	特 徴	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			全長	幅	厚さ	重量			
24	打製石斧	+24cm 完形	10.1	7.1	2.6	242.8	硬質泥岩	両側中央にえぐりが入る。調整は両面全面に及ぶ。刃部の稜に摩耗が見られる。	
25	磨石	+21cm 完形	16.9	5.7	5.1	745.2	硬質泥岩	刃部と基部にわずかに剝離が加えられている。刃部近くに擦痕が見られる。	
26	打製石鎌	覆土 一部欠損	(1.8)	1.4	3.0	0.9	チャート	調整は入念だが、周辺に限られ、素材剥片の剝離面を両面に残す。	

B-112号住居出土遺物 (第150図 PL 58)

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石 材	特 徴	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			法量(cm)	全長	幅	厚さ			
1	甕	床密着 頸部～底 部	底 6.2					外 頸部は右回り2連止め簾状文、胴上位波状文、以下ヘラミガキ、底部は指オサエ後ヨコナデ。 内 胴上位に指頭圧痕、中位以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色土
2	甕	+24cm 口縁部片						口縁部内外面ヨコナデ、以下の口縁外面はヘラケズリ後ヘラミガキ。内面はヘラミガキ。頸部波状文。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色

2 弥生時代住居跡出土遺物

B-113 号住居出土遺物 (第 152 図 P L 58)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
1	甕	+8 cm 完形	口 11.4 高 13.8 底 4.8	多段口縁、頸部～口縁部に かけて、弓状に外反する。	外 口縁の粘土帯上に指頭圧痕、器面の剥 落著しい。 内 口縁部ヘラミガキ、胴上位～中位に指 頭圧痕、胴部ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③暗赤褐色
2	甕	床密着 口縁部	口(17.4)	頸部～口縁にかけて、ゆる やかに外反する。	外 口縁部ヨコナデ、口縁～胴中位に波状 文。 内 口縁部ヨコナデ、胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色
3	台付甕	床密着 口縁～胴 部	口(9.6)	頸部～口縁にかけて、弓状 に外反する。	外 口縁部ヨコナデ、胴上位はヘラケズリ 後ナデ、胴下位ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、胴中位指頭圧痕、ヘ ラミガキ、胴下位ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色

B-114 号住居出土遺物 (第 153 図 P L 58)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
1	甕	+15 cm 頸部～胴 上位		頸部～口縁にかけて、「く」 の字状に外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部は 8 本単位の 2 連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、 以下ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄褐色
2	壺	覆土 底部	底 5.4		外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色
3	鉢	覆土 %	口(12.4) 高 5.2 底 3.3		外 口縁部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。 内 体部ヘラミガキ、底部は剥離。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明褐色
4	甕	+6 cm 頸部片			外 頸部簾状文、胴上位は櫛描横羽状文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
5	甕	覆土 胴部片			外 原体 R L の斜縄文。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄褐色
6	鉢	+5 cm	口 12.9 高 4.9 底 3.7		内外面赤色塗彩。口縁部ヨコナデ、体部内 外面ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色

B-115 号住居出土遺物 (第 157・159・160 図 P L 58・59)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
1	壺	+5 cm 底部欠損	口 18.8	口縁部は朝顔状に大きく外 反する。最大径は口縁部に ある。	外 赤色塗彩、口縁部はヨコナデ後縦ヘラ ミガキ、頸部は篋描き矢羽根状文、胴上位 はヘラミガキ。 内 口縁部は赤色塗彩、ヘラミガキ、器面 の剥落著しい。	①細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
2	甕	+18 cm %	口(19.5) 高 23.8 底 7.0	頸部～口縁部にかけて緩や かに外反する。胴部内面に 接合痕が観察できる。	外 口縁部ヨコナデ、口縁部はヘラケズ リ後ヘラミガキ。頸部は 10 本単位の 2 連止 め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下 ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②堅緻 ③黄褐色
3	甕	+13 cm %	口 15.3 高 25.3 底 7.3	口縁は緩やかに外反する。 最大径は胴下位にある。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は 10 本単位の 2 連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、 以下縦位のヘラケズリ後縦位ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄褐色
4	壺	+17 cm 口縁～胴 上位	口 20.7	頸部～口縁部にかけて弓状 に外反する。	外 頸部は 10 本単位 3 連止め簾状文(右回 り)、胴上位は櫛描横羽状文。 内 口縁部はヨコナデ。器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄褐色

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
						計測値(cm・g)		
			全長	幅	厚さ	重量		
5	甕	+15 cm 胴～底部	底 7.6		外 胴部ヘラケズリ後丁寧なヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明褐色		
6	甕	+24 cm 口縁～胴 上位	口(13.3)	頸部～口縁にかけて、「く」 の字状に外反、口縁端部で、 大きく開く。内面に接合痕 がある。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、 頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回 り)、胴上位は波状文。 内 口縁端部ヨコナデ。胴部はナデ、指頭 圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい黄褐色		
7	甕	+5 cm 底部	底 15.2	底部に木葉痕が観察でき る。	外 胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。底部ナ デ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい黄褐色		
8	小型甕	+6 cm 胴～底部	底 5.1		外 頸部は右回り2連止め簾状文。胴部ヘ ラミガキ。 内 ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③褐色		
9	台付甕	貯蔵穴内 -18 cm 台部欠	口(13.3)	頸部～口縁にかけて、弓状 に外反する。最大径は胴上 位にある。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は8本単位の2 連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、 以下ヘラミガキ。 内 胴部に指頭圧痕、ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色		
10	台付甕	+24 cm 台部欠	口(10.7)	頸部～口縁にかけて、弓状 に外反する。	外 口縁部ヨコナデ、胴上位は8本単位の 波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 頸部～胴上位ヘラミガキ、胴下位に指 頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい赤褐色		
11	鉢	+15 cm %	口(14.8) 高 6.2 底 4.7	口縁部で内湾する。	外 赤色塗彩、体部縦位のヘラミガキ。 内 赤色塗彩、器面が荒れており、底部は 著しく剝落している。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
12	鉢	貯蔵穴内 -18 cm %	口 17.0 高 6.2 底 4.7	体部はやや内湾する。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、 体部は外面は縦位のヘラミガキ、内面は横 位のヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤色		
13	鉢	+18 cm %	口(17.3) 高 8.8 底 5.8	体部外傾、端部で内湾気味 に立ち上がる。体部と口縁 部の接合痕が内面に観察で きる。	外 口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ヘ ラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部はヘラケズリ後 ヘラミガキ。底部付近はナデ後ヘラミガキ。 底部は器面の剝離が特に著しい。一部赤色 塗彩あり。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明黄褐色		
14	鉢	+18 cm %	口(14.6) 高 8.2 底 4.7	逆台形を呈する。	外 口縁部はヨコナデ、体部はヘラケズリ 後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部はヘラミガキ。 底部のみ剝離している。一部赤色塗彩あり。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色		
15	鉢	+26 cm %	口(13.8) 高 6.1 底 4.5	体部は内湾気味に立ち上 がる。	内外面赤色塗彩、口縁は内外面共にヨコナ デ、内外面共に器面が荒れている。内面の 底部付近は器面の剝離が著しい。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい黄褐色		
16	高坏	床密着 坏部	口(23.0)	坏部は直線的に外傾、口縁 部で外反する。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、 坏部は内外面ヘラミガキ。内面は剝離著し い。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
17	高坏	+2 cm 脚部	底 17.0	脚部は「ハ」の字状に外開 する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 坏部は剝離、脚部は荒いハケメ、脚裾 部はヘラケズリ後ヘラミガキ。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
18	片口	+30 cm 口縁部欠	口(13.2)		外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色		
19	ミニチュア 鉢	+11 cm 口縁部欠	口(6.4) 高 3.8 底 3.7	形状の歪み、指オサエによ る凹凸が目立つ。	外 口縁部ヨコナデ、体部は指頭圧痕著し い。 内 口縁部ヨコナデ、体部はナデ、指頭圧 痕あり。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③灰褐色土		
20	ミニチュア	+34 cm 胴～底部	底 4.0	成形は粗雑。	外 指ナデ。 内 指ナデ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明褐色		
21	甕	貯蔵穴内 -8 cm			外 T字文の間に波状文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
22	二次加工の ある剥片	覆土 完形	5.5	8.0	1.3	64.2	硬質泥岩	横長の剥片の先端に、不規則な剝離が見られる。

2 弥生時代住居跡出土遺物

B-116号住居出土遺物(第165~171図 PL 59~61)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	+23 cm 底部欠損	口 22.3	頸部〜口縁部にかけて弓状に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部は9本単位の2・3連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、頸部〜胴上位ナデ、以下ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③浅黄橙色
2	壺	+12 cm ほぼ完形	口 13.8 高 12.7 底 5.1	口縁部は頸部より強く外反し、口縁部に最大径を有する。胴上位に焼成後の穿孔あり。	外 赤色塗彩、頸部は6本単位の簾状文、胴上位〜胴下位ヘラミガキ、底部ヘラケズリ。 内 口縁部赤色塗彩、ヘラミガキ、頸部以下赤色塗彩痕、頸部はヘラケズリ、胴部は荒いハケメ後ヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
3	壺	+11 cm 底部欠損		胴部最大径は胴下位に位置する。胴下位に外稜をもつ。胴部最大径から胴上位にかけて内傾・内湾し、頸部は大きくくびれる。	外 口縁部・胴部赤色塗彩、口縁部は縦位のヘラミガキ、頸部は13本単位の3連止め簾状文(右回り)を1段、斜格子文を1段施文し、簾状文上に円形浮文を等間隔で6個貼付する。胴部はヘラミガキ。 内 口縁部赤色塗彩、ヘラミガキ。器面の剝落著しい。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
4	壺	+4 cm 口縁部欠		口縁部は頸部より強く外反し、端部でL字状に屈曲する。	外 赤色塗彩、口縁端部ヨコナデ後ヘラミガキ、以下ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
5	壺	+21 cm 口縁部欠	口(20.6)	頸部〜口縁部にかけて弓状に外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部は右回り5連止め簾状文を2段施す。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色
6	壺	+4 cm 口縁〜頸部欠	口(20.5)		外 赤色塗彩、口縁部ヘラミガキ、頸部は右回り2連止め簾状文。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色
7	大型壺	+14 cm 胴上位〜底部欠	底 11.6		外 胴上位はヘラミガキ、胴下位はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面の剝落著しい。	①石英粒・砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
8	大型壺	+7 cm 底部	底 14.0		外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面の剝落著しい。	①砂粒を含む。 ②普通 ③灰白色
9	大型壺	+3 cm 胴上位欠			外 上部は波状文、以下ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
10	壺	+14 cm 頸部〜胴下位欠		胴部最大径は胴下位にある。	外 頸部は7本単位の右回り2連止め簾状文、胴上位は波状文、以下ハケメ後ヘラミガキ。 内 頸部ヘラミガキ、器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色
11	壺	+11 cm 口縁部欠	口(29.5)	口縁部は緩やかに外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部は右回り2連止め簾状文。 内 器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色
12	壺	+22 cm 胴部片			外 赤色塗彩、胴上位は櫛描横羽状文、以下ヘラミガキ。 内 上位ヘラケズリ後ナデ、以下ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色
13	甕	+11 cm ほぼ完形	口 19.0 高 29.7 底 7.0	器形の歪みが著しい。最大径は胴上位に位置する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部〜胴下位はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部〜胴下位は横位のヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色 ④スス付着、2次焼成を受け器形の歪みが著しい。
14	甕	+6 cm ほぼ完形	口 18.1 高 30.5 底 8.0	最大径は胴中位。	外 口縁端部ヨコナデ、波状文、口縁部横位のヘラミガキ、頸部8本単位の3連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、胴中位横位のヘラミガキ、胴下位縦位のヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ③色調	②焼成 ④備考
15	甕	+13 cm 口縁～底部	口(16.3) 高 28.1 底(9.9)	頸部～口縁部にかけて弓状に外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部・胴上半ハケメ後ナデ、波状文。頸部は9本単位の簾状文(右回り)、胴下位ハケメ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、以下は器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色	
16	甕	+23 cm ほぼ完形	口 14.2 高 18.2 底 5.7	頸部～口縁部にかけて緩やかに外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部は7本単位の2連止め簾状文(右回り)胴上位波状文。胴下位はヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁～頸部はヘラミガキ、胴部ヘラケズリ後ミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③浅黄橙色	
17	甕	+ 8 cm 口縁～胴上	口(19.1)	頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 頸部～胴上位波状文、器面が荒れている。 内 器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい赤褐色	
18	甕	+33 cm 口縁部	口 19.5	口縁は緩やかに外反する。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ナデ後ヘラミガキ、頸部は2連止め簾状文(右回り)。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色	
19	小型甕	+35 cm 頸部～底部	底 5.3		外 胴上位は波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色	
20	甕	+13 cm 口縁部	口(15.1)	頸部～口縁部にかけて弓状に外反する。	外 ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、胴上位ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤褐色土	
21	甕	+13 cm 口縁～胴上位 $\frac{1}{2}$	口(13.4)		外 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、頸部～胴上位は波状文、以下ヘラケズリ。 内 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、胴部ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい赤褐色	
22	甕	+13 cm 口縁部 $\frac{1}{2}$	口(13.4)		外 口縁端部ヨコナデ、頸部～胴上位は原体LRLを縦位施文。 内 口縁部ヨコナデ、胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤褐色	
23	甕	+13 cm 口縁～胴部	口 12.4	頸部～口縁にかけて緩やかに外反する。	外 口縁部ヨコナデ、原体LRの縄文、頸部～胴上位原体RLの縄文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、頸部以下ヘラミガキ、胴上位に指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
24	甕	+12 cm 口縁～胴部	口(15.0)	多段口縁、頸部～口縁にかけて、緩やかに外反する。	外 口縁部はヨコナデ、粘土帯上に不明瞭な指頭圧痕、頸部は6本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位に同一工具使用の櫛描横羽状文。 内 口縁部～胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい橙色	
25	甕	+24 cm 口縁～胴上位 $\frac{1}{2}$	口(14.0)	口縁は緩やかに外反し、端部で僅かに内湾する。	外 口縁部ヨコナデ、頸部ヘラミガキ、胴上位波状文。器面が荒れている。 内 口縁端部ヨコナデ、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③赤褐色	
26	甕	+11 cm 口縁～胴上位	口(15.0)		外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、ヘラあて痕、頸部～胴上位波状文。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい橙色	
27	甕	+10 cm 頸部～底部 $\frac{1}{2}$	底(7.6)		外 頸部は8本単位2連止め簾状文(右回り)、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色	
28	台付甕	+40 cm 台部欠損 $\frac{1}{2}$	口(14.5)		外 口縁部ヨコナデ後波状文、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁～胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色	
29	台付甕	+10 cm 台部欠損 $\frac{1}{2}$	口(12.3)	内面に接合痕。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は11本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、胴下位ヘラミガキ。 内 口縁～胴部ヘラミガキ、胴中位に指頭圧痕が観察できる。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色	
30	小型台付甕	+22 cm ほぼ完形	口 9.4 高 9.5 底 6.0		外 口縁部ヨコナデ、胴部～台部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、胴部ヘラミガキ、台部ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色	

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
31	小型台付甕	+25 cm 胴部のみ			外 胴上位は右回り3連止め簾状文、胴上位へ中位に原体LRLの縄文、胴下位ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色		
32	台付甕	+16 cm 台部欠損	口(11.4)	頸部へ口縁にかけて、緩やかに外反する。	外 口縁部ヨコナデ、頸部は10本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、胴部ヘラミガキ、台部ナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③暗赤褐色		
33	鉢	+18 cm 1/2	口(14.8) 高 5.3 底 5.0	口縁部で内湾する。	外 赤色塗彩、体部はヘラミガキ。 内 赤色塗彩、体部はヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
34	鉢	+19 cm 3/4	口(14.6) 高 7.9 底 4.5	逆台形を呈する。	外 口縁端部ヨコナデ、縦位のヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、横位のヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
35	鉢	+10 cm 体部3/4 底部欠損	口 13.8	体部は直線的に外傾する。	外 口縁部ヨコナデ、体部縦位のヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明褐色		
36	鉢	+13 cm 1/4	口(15.3)	体部は直線的に外傾して、端部で直立気味に立ち上がる。	内外面赤色塗彩、口縁部内外面横位のヘラミガキ。体部外面縦位のヘラミガキ、内面は器面の剥落著しい。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
37	鉢	+10 cm 体部3/4 底部欠損	口(13.8)	体部は直線的に外傾する。	内外面赤色塗彩、口縁部は内外面ヨコナデ、体部外面縦位のヘラミガキ、内面横位のヘラミガキ。	①赤色粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
38	片口	+10 cm 1/2	口 14.3 高 6.7 底 4.0	体部は直線的に外傾して、口縁は内湾する。口縁部に焼成前の一孔がある。	外 赤色塗彩、口縁端部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
39	高坏	+15 cm 脚部のみ	底 18.2	脚部は「ハ」の字状に外開する。内面に粘土帯接合痕。	外 赤色塗彩、縦位のヘラミガキ。裾部ヨコナデ。器面が著しく荒れている。 内 裾部ヨコナデ。指頭圧痕、器面が著しく荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
40	高坏	+32 cm 坏部1/2脚部上位	口(15.6)	坏部は内湾気味に立ち上がる。	外 赤色塗彩、口縁部ヨコナデ、坏部・脚部ともに縦位のヘラミガキ。 内 坏部赤色塗彩、口縁部はヨコナデ、以下ヘラミガキ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤色		
41	甕	+36 cm 底部のみ	底 3.8 孔 1.3	底部中央に焼成前の穿孔が一孔ある。	外 縦位のヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色		
42	ミニチュア(壺)	+21 cm 口縁部欠損	底 4.0	胴部内面に粘土帯接合痕、器肉厚く、器面の凹凸が目立つ。	外 ナデ後縦位のヘラミガキ。 内 胴上位に指頭圧痕、胴下位ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色		
43	ミニチュア(壺)	+28 cm ほぼ完形	口(5.4) 高 8.2 底 3.1	胴部内面に粘土帯接合痕、指オサエによる器面の凹凸が目立つ。	外 器面が荒れている。 内 胴中位指頭圧痕、胴下位ナデ。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③にぶい黄褐色		
44	土製品?	一部?		円形状の土製品の一部と思われる。端部に突起部をもつ。	赤色塗彩。	①細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
45	石鎌	+68 cm 完形	16.1	8.0	3.2	508.8	変質安山岩	表面の刃部付近の稜に、使用痕と思われる摩耗が見られる。
46	石鎌	+52 cm	15.8	6.0	2.5	385.3	緑色片石	刃部先端に、使用痕と思われる明瞭な稜のつぶれが見られる。凹石の転用。

B-118号住居出土遺物(第173図 P L 62)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	鉢	覆土 底部欠損	口(15.6)		外 口縁部ヨコナデ、体部縦位のヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、体部横位のヘラミガキ。	①細砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい黄橙色
2	甕	覆土 頸部片			外 頸部～胴上位は波状文。	①粗砂粒を含む。 ②普通 ③暗赤褐色

B-132号住居出土遺物(第175・176図 P L 62)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	床密着	口(11.0) 底(9.3)	口縁部は筒状の頸部から緩やかに外反し、上位で直立気味に立ち上がる。胴部は中位で大きくふくらみ、頸部に向かって収束する。	外 口縁～胴部は原体Lの縄文(横位施文)を地文として、頸部に刺突文2条、ヘラミガキ、ヘラ描連続山形文4条、8条、胴上位に連続山形文7条、ヘラ描平行線文5条、胴中～胴下位に原体Lの縄文(縦位施文)を沈線で舌状に区画している。以下ヘラミガキ。地文の縄文部分に赤色塗彩。底部に布目痕。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
2	壺	床密着 胴～底部	底 7.4		外 胴中～胴下位はヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 胴中～胴下位ヘラナデ、指頭圧痕。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色
3	小型壺	床密着 口縁部欠	底 3.9	頸部はくびれ、胴下位に最大径をもつ。	外 頸部～胴部はヘラ描平行沈線文によって一次区画され、その間にヘラ描連続山形文が施されている。頸部～胴上位には原体LRの縄文が地文として使用されている。最下位の平行沈線文の下にはヘラ描連弧文が施され、円形浮文が5個貼付されている。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色
4	壺	床密着 頸部		頸部は細くくびれる。	外 平行沈線文2条、間に沈線爪形文、以下原体LRの斜縄文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③灰赤色
5	甕	床密着 底部欠損	口 15.5	口縁部は外反し、上半で内湾、受口状を呈する。	外 口唇部に縄文、頸部～口縁部はヨコナデ、胴上位には櫛描縦羽状文を施す。胴中～下位は縦位のヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③暗赤褐色
6	甕	床密着 頸部～胴上位			外 7本単位の櫛描T字文の間に7本単位の櫛描波状文。 内 ヘラケズリ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色
7	甕	床密着 口縁～胴部			外 口縁部～胴上位は原体RLの縄文を施す。口縁部は連続山形文、平行沈線文、口縁の平行沈線文上に円形浮文を貼付、頸部に連続山形文、頸部～胴部にヘラ描「コ」の字重ね文。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい黄橙色
8	甕	覆土 口縁部片		受口状口縁	外 口縁部は地文に原体LRの縄文を施し、連続山形文3条。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③褐色
9	甕	覆土 口縁部片		受口状口縁	外 口縁部は地文に原体LRの縄文、連続山形文1条。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③暗褐色
10	甕	覆土 口縁部片			外 櫛描横羽状文。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい黄褐色
11	壺?	覆土 胴部片				①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色
12	甕	床密着 胴部片			外 櫛描横羽状文。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい褐色
13	甕	床密着 頸部片			外 頸部は2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色

2 弥生時代住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			全長	幅	厚さ	重量			
14	甕	覆土 胴部片					外 地文は原体RLの縄文、上部に鋸歯文を施し、直下に平行沈線文、円形浮文を貼付。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色	
15	二次加工のある剥片	+ 2 cm	10.6	4.2	0.8	40.6	硬質泥岩	剥片の両側に不規則な小さな剝離が見られる。	

B-162号住居出土遺物 (第179・180図 PL 62・63)

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			全長	幅	厚さ	重量			
1	壺	+ 3 cm 胴部片					外 頸部は8本単位2連止め簾状文(右回り)、胴上位櫛横羽状文、以下波状文、ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③明赤褐色	
2	甕	+33 cm %	口(16.1) 高 27.0 底 7.0				外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部～胴上位波状文、胴部ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ、指頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色	
3	甕	+30 cm 口縁部欠損	底(5.8)				外 ヘラミガキ。 内 胴部ヘラミガキ、上位に指頭圧痕、底部ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③褐色	
4	甕	床密着 口縁～胴部%	口 23.0				外 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、頸部10本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色	
5	甕	+31 cm 口縁～胴上位					外 口縁部の粘度帯上に指頭圧痕、頸部は10本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位に波状文を僅かに施文、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③暗褐色	
6	蓋?	覆土	底 5.7				外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ、つまみ部ナデ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい褐色	
7	鉢	+13 cm %残	口 14.8 高 5.6 底 5.3				外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①赤色粒・石英粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色	
8	高坏	床密着 坏部	口 25.9				外 赤色塗彩、口縁端部ヨコナデ、体部ヘラミガキ。 内 赤色塗彩、ヘラミガキ。	①赤色粒・白色粒・細砂粒を含む。 ②普通 ③赤色	

B-164号住居出土遺物 (第183図 PL 63)

番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値 (cm・g)				石材	文様・整形	①胎土 ③色調 ②焼成 ④備考
			全長	幅	厚さ	重量			
1	甕	床密着 ほぼ完形	口 17.2 高 28.3 底 8.5				外 口縁端部ヨコナデ後波状文、口縁部はヘラケズリ後ヘラミガキ。頸部～胴上位に波状文、胴部はヘラミガキ(一部波状文上にあり) 内 口縁～胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色	
2	甕	+11 cm %	口(14.0) 高 18.8 底 6.2				外 口縁端部・頸部～胴上位に波状文の痕跡、胴下位ヘラミガキ。器面が荒れている。 内 器面が著しく荒れている。	①粗砂粒を含む。 ②軟弱 ③暗褐色	

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
						計測値(cm・g)		
		全長	幅	厚さ	重量			
3	台付甕	—5cm 台部欠損	口 16.2	口縁は強く外反する。	外 口縁部ヨコナデ、頸部2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、胴部ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③赤褐色		
4	スクレイパー	覆土 一部欠損	4.0	3.4	1.1	14.3	珪質頁岩	素材剥片の背面全周と先端の腹面に調整を加える。

B-168号住居出土遺物(第186・187図 P L 63・64)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
						計測値(cm・g)		
		全長	幅	厚さ	重量			
1	大型壺	+12cm 底部	底 11.8		外 胴下位ヘラケズリ後ヘラミガキ。底部はナデ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
2	壺	床密着 口縁部	口 16.9	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 頸部は9本単位の波状文後3連止め、胴上位波状文。 内 胴上位ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色		
3	甕	床密着 口縁～胴上位		頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。	外 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ。頸部～胴上位波状文。 内 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ。口縁部に赤色塗彩痕が僅かに残る。	①粗砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色		
4	甕	+47cm 口縁～胴上位	口 13.0	多段口縁、頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 口縁部の粘土帯上に指頭圧痕、頸部～胴上位波状文。 内 口縁部ヘラミガキ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③褐色		
5	甕	+7cm 底部	底 4.8		外 胴下位ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色		
6	高坏	床密着 坏部	口 26.1	坏部は直線的に外傾する。	外 口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③褐色		
7	ミニチュア	+3cm 胴下位～底部	口(6.1) 高(6.8) 底(4.0)	成形は粗雑、指オサエによる器面の凹凸が著しい。	外 指頭圧痕、粘土帯接合痕が観察できる。 内 上部に指頭圧痕、以下ナデ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③褐色		
8	台付甕	覆土 口縁部片		S字口縁	古式土師(石田川式土器)のS字口縁部。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色		
9	台付甕	+5cm 台部	底(5.0)		古式土師、外面ハケメ、内面ヘラケズリ、台部内面に指頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
10	石鍬	覆土上層 完形	14.9	8.1	3.1	414.1	硬質泥岩	両面のほぼ全面に調整が及ぶ。刃部がやや張り出すバナ形。
11	石鍬	覆土上層 完形	16.5	8.6	3.4	423.7	粗粒安山岩	両面のほぼ全面に調整が及ぶ。刃部再生が行われ、その結果刃部がやや傾いている。
12	石鍬	覆土上層 完形	22.6	12.2	4.4	1663.9	硬質泥岩	非常に大きな剥片の側縁に部分的に調整を加える。未製品と思われる。
13	石鍬	覆土上層 完形	28.2	11.7	3.8	1353.3	デイサイト	両面の全面に調整が及ぶ。刃部はやや傾く。刃部近くの稜上に使用痕と思われる摩耗がある。
14	石鍬	覆土上層 完形	15.8	9.0	2.7	565.8	細粒安山岩	一側の中央がえぐり状を呈するが、素材の形状によるもので意図的な作出ではない。

2 弥生時代住居跡出土遺物

B-174号住居出土遺物 (第190・191図 P L 64)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	甕	床密着 1/4	口(20.2) 高 34.0 底 8.8	頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 口縁部ヘラミガキ、頸部は9本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、胴上位～胴下位ヘラミガキ、底部ヨコヘラケズリ。 内 口縁～胴下位ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
2	甕	床密着 ほぼ完形	口(18.8) 高 32.0 底 8.5	頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 器面が荒れている。頸部は9本単位の3連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
3	甕	+3cm 口縁～胴上位	口(18.6)	多段口縁。頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 口縁の粘土帯上に指頭圧痕、頸部は7本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。胴部に指頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色		
4	小型甕	+3cm 1/4	口(12.1) 高 15.9 底 5.6	頸部～口縁にかけて、弓状に外反する。	外 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位櫛描横羽状文、胴中位～下位ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明褐色		
5	甕	床密着 底部	底 8.4		外 ヘラミガキ。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい赤褐色		
6	高坏	+3cm 脚部	底 13.5	脚部は「ハ」の字状に外開する。	外 赤色塗彩、ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ後ヘラミガキ。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②普通 ③赤色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
7	石鎌	+26cm 完形	15.2	11.2	3.1	640.9	硬質泥岩	素材剥片のほぼ全周両面に粗い調整を加えてある。刃部近くに摩耗が見られる。
8	磨石	+16cm 一部欠損	10.4	10.0	7.7	1028.7	デイスait	裏面中央及び側縁に研磨の痕跡が見られる。

B-178号住居出土遺物 (第194図 P L 65)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考		
1	甕	+4cm 底部欠損 1/4	口(17.6)	多段口縁。	外 口縁端部ヨコナデ、口縁粘土帯上に指頭圧痕、頸部ヘラミガキ、胴上位波状文、胴中位横ヘラミガキ。胴下位縦ヘラミガキ。 内 口縁端部ヨコナデ、口縁～胴部ナデ後ヘラミガキ。胴上位に指頭圧痕。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色		
2	甕	-56cm (ピット) 口縁～胴	口(12.9)	口縁は直立気味に立ち上がり、端部で僅かに内湾する。	外 口縁部波状文、頸部は8本単位の2連止め簾状文(右回り)、胴上位波状文、以下ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③にぶい褐色		
3	甕	床密着 胴～底部	底 6.6		外 ヘラケズリ。 内 ナデ。	①粗砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色		
4	甕	床密着 口縁部片	口(26.0)		外 口縁部ヘラミガキ。頸部は右回り2連止め簾状文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②普通 ③明赤褐色		
5	壺	+4cm			外 赤色塗彩、頸部簾状文、胴部櫛描横羽状文を施文。	①赤色粒・砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色		
番号	器種	出土位置 遺存状態	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
6	石鎌	+16cm	13.4	9.5	3.3	453.2	硬質泥岩	両側に入ぐりが入る。調整は腹面の全周に加えられ、背面には大きく自然面を残す。

3 埋甕出土遺物

B-2号埋甕出土遺物 (第197図 PL 65)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁～胴下位	埋設土器	口縁は内湾する。器厚は9mm～20mm。内面は丁寧な調整が行われている。	口縁部の文様帯は隆帯と沈線による楕円、渦巻き等の文様が描かれており、区画内に原体LRの縄文施文、隆帯の周りの縄文はすり消。胴部には、LRの縄文を充填し、沈線による文様が描かれている。	①砂粒を含む。 ②良好 ③内外面 におい橙色

B-3号埋甕出土遺物 (第197図 PL 65)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 胴部～底部	埋設土器	底部は平底。器厚10mm～17mm。内面は部分的にヘラケズリ。	沈線を垂下し舌状文を描いている。	①軽石を含む。②良好 ③内外面 におい橙色

B-1号埋甕出土遺物 (第196図 PL 65)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺棺	埋設土器 蓋部?	底 15.6	大型壺の胴下位を打ち欠いたものか。	外 ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③浅黄橙色
2	壺棺	埋設土器 上部欠	底 12.6	大型壺の胴中位以下を打ち欠いたものか。胴部内面に接合痕が観察できる。	外 ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや軟弱 ③橙色

B-4号埋甕出土遺物 (第196図 PL 65)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	甕	埋設土器 口縁～胴部欠	口(20.0)	口縁部は外傾し、上半で内湾して、受口状を呈する。	外 口縁部は原体Lの斜縄文を地文とし、ヘラ描連続山形文1条、頸部は櫛描平行線文、胴上位～中位は櫛描縦羽状文。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明褐色

B-5号埋甕出土遺物 (第196図 PL 66)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	甕	埋設土器 ほぼ完形	口 21.4 高 21.3 底 6.7	口縁部は広い頸部から短く外反する。最大径は胴上位にある。	外 頸部は櫛描横平行線文、胴部は櫛描縦羽状文。器面が荒れている。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや軟弱 ③におい橙色

4 土坑出土遺物

B-9号土坑出土遺物 (第200図 PL 66)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁部片	+22 cm	波状口縁。器厚6mm~9mm。内外面に繊維痕。	口縁にそって、巾5mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文3条、横方向に3条を施し、三角形を構成。以下原体Lの斜縄文。	①繊維を含む。 ②良 ③外 橙色 内 暗褐色
2	深鉢形土器 底部	+22 cm	底部上げ底。内外面に繊維痕。器厚7mm~10mm。	原体Lの斜縄文を施文。	①繊維を含む。②良 ③外 橙色 内 暗褐色
3	深鉢形土器 胴部片	+42 cm	器厚9mm~12mm。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③外 におい褐色 内 暗褐色
4	深鉢形土器 胴部片	+42 cm	器厚8mm~10mm。	巾6mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①白色粗砂・繊維を含む。②良 ③内外面 におい褐色
5	深鉢形土器 胴部片	+25 cm	器厚8mm~10mm。内外面に繊維痕が認められる。	原体Lの斜縄文。	①繊維を含む。②良 ③外 赤褐色 内 暗褐色
6	深鉢形土器 胴部片	+43 cm	器厚9mm~11mm。内外面に繊維痕が認められる。	原体Lの斜縄文。	①繊維を含む。②やや軟弱 ③内外面 褐色

B-17号土坑出土遺物 (第201図 PL 66)

番号	器種 (部位)	出土位置	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考			
1	深鉢形土器 口縁部片	+11 cm	平縁。内外面に繊維痕が認められる。器厚6mm。	巾8mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文。	①繊維を含む。②良 ③内外面 明黄褐色			
2	深鉢形土器 口縁部片	+9 cm	波状口縁。内外面に繊維痕が認められる。器厚6mm~7mm。	巾8mmの半截竹管の平行沈線。	①繊維を含む。②良 ③外 褐色 内 橙色			
3	深鉢形土器 頸部片	覆土	器面荒れ、内外面に繊維痕が認められる。	巾8mmの半截竹管の平行沈線で菱形を区画か？	①繊維を含む。②良 ③内外面 褐色			
4	深鉢形土器 頸部片	+29 cm	内外面に繊維痕が認められる。器厚8mm~10mm。	頸部は巾8mmの半截竹管の平行沈線。以下LR(0段多条)の斜縄文。	①砂粒・繊維を含む。②良 ③内外面 褐色			
5	深鉢形土器 口縁部片	+28 cm	波状口縁。内外面に繊維痕が認められる。器厚7mm~10mm。	巾7mmの半截竹管の平行沈線で菱形を区画か？	①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色			
6	深鉢形土器 底部片	+28 cm	底部は平底。器厚9mm~17mm。	原体Lの斜縄文施文。	①繊維を含む。②良 ③外 黄褐色 内 暗褐色			
番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
7	スクレイパー	+8 cm	7.6	5.4	1.8	63.2	硬質泥岩	素材剥片の先端腹面に小さな剝離が見られる。

B-6号土坑出土遺物 (第201・202図 PL 66)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	+4 cm		頸部のくびれはやや大きい。	外 頸部は7本単位の右回り2連止め籠状文、胴上位は櫛描横羽状文か？ 内 ナデ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③赤褐色 ④内外面スス付着
2	壺	+11 cm	口(31.6)	口縁部は大きく外に開く。	内外面口縁端部ヨコナデ、以下内外面ハケメ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③明赤褐色 ④上部は内外面スス付着
3	甕	+5 cm			外 頸部は右回り2連止め籠状文、胴上位は波状文、以下ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②普通 ③橙色
4	壺	+3 cm	底 10.0		外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。②やや堅緻 ③明赤褐色
5	台付甕	覆土	底 5.6		外 ヘラミガキ。 内 ナデ。	①砂粒を含む。②普通 ③明赤褐色

B-9・17・6・7・18号土坑出土遺物 グリッド出土遺物

番号	器種 (遺存状態)	出土位置	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
6	スクレイパー	覆土	10.2	4.7	1.8	98.9	黒色頁岩	素材剥片の左側～先端の背面に調整を加える。右側縁には刃こぼれ状の小剝離あり。

B-7号土坑出土遺物 (第202図 PL 66)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	甕	+8cm 頸部片			外 頸部は10本単位の右回り2連止め簾状文、胴上位は櫛描横羽状文。 内 ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色
2	甕	+3cm	底 6.5		外 ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 器面が荒れている。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色

B-18号土坑出土遺物 (第202・203図 PL 66)

番号	器種	出土位置 遺存状態	法量(cm)	器形・成形	文様・整形	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	壺	覆土上層 頸部～胴部		頸部は細くくびれ、胴部は、中位で大きく張る。	外 頸部は平行沈線文3条、胴部はハケメ後ヘラミガキ。一部に原体Rの縄文を施す。 内 荒いハケメ。	①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③明赤褐色
2	壺	覆土上層 胴部		最大径は胴上位か？	外 胴上位はハケメ後6本単位の櫛描波状文を縦方向に施文、波状文の間に刺突文をヘラ描沈線文で舌状に沈線区画。胴中位以下ヘラミガキ。 内 ハケメ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③にぶい橙色
3	甕	覆土上層 口縁～胴部	口(16.3)	口縁は広い頸部から短く外反する。	外 口唇部に刻み目痕、胴部は櫛描縦羽状文、一部に波状文と等間隔止め簾状文を施文している。 内 ハケメ後ヘラミガキ。	①砂粒を含む。 ②堅緻 ③橙色

5 グリッド出土遺物

グリッド出土遺物 (第204～206図 PL 66・67)

番号	器種 (部位)	出土位置 グリッド	成形・器面調整の特徴	文様(その他)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1	深鉢形土器 口縁部片	B j-31	器厚7mm～12mm。	口縁部に貼付文、以下巾6mmの半截竹管の平行沈線を横方向に施文。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 褐色
2	深鉢形土器 口縁部片	B l-30	平縁。器厚11mm～13mm。内面は横方向の丁寧な調整。	R L Rの斜縄文後、口縁上部と頸部に半截竹管の平行沈線(巾7mm)を横方向に施文し、区画内に平行沈線で菱形、三角形を構成。	①繊維を含む。 ②良 ③外 明褐色 内 褐色
3	深鉢形土器 口縁部片	B j-31	平縁。器厚10mm～14mm。内外面に繊維痕。	R L Rの斜縄文後、巾6mmの半截竹管の平行沈線でくずれた菱形を構成か？	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明褐色
4	深鉢形土器 口縁部片	B k-28	器厚10mm～12mm。内面は横方向の丁寧な調整。	R L Rの斜縄文後、半截竹管の平行沈線で文様構成。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 にぶい褐色
5	深鉢形土器 頸部片	B j-31	器厚11mm～13mm。内外面に繊維痕。	正反の合 $\begin{matrix} & R & \left\{ \begin{matrix} L \\ L \\ R \end{matrix} \right\} \\ L & \left\{ \begin{matrix} L \\ L \\ R \end{matrix} \right\} & \\ & R & \left\{ \begin{matrix} L \\ R \\ L \end{matrix} \right\} \end{matrix}$ で羽状。	①繊維を含む。 ②良 ③内外面 明褐色

5 グリッド出土遺物

番号	器種 (部位)	出土位置 グリッド	成形・器面調整の特徴				文様(その他)		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
			計	測	値	(cm・g)	石 材	特 徴	
番号	器種 (遺存状態)	出土位置 グリッド	全長	幅	厚さ	重量			
6	深鉢形土器 頸部片	B q-35	器厚 10 mm~13 mm。内外面に繊維痕。				斜縄文後、半截竹管の平行沈線で文様を構成している。		①繊維を含む。②良 ③内外面 明褐色
7	深鉢形土器 口縁部片	B j-29	器厚は 11 mm。				2本附加条の斜縄文(RL+R・Rか?)後、巾7mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文で文様構成。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色
8	深鉢形土器 頸部片	B j-29	器厚 11 mm。内面に繊維痕。				縄文施文後、巾7mmの半截竹管の平行沈線で文様構成。		①繊維を含む。②良 ③外 暗褐色 内 におい黄褐色
9	深鉢形土器 注口部	B j-31	器厚 7 mm~13 mm。内面は横方向の調整が行われている。				注口部に巾7mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文と平行沈線で文様構成。		①繊維を含む。②良 ③内外面 黄褐色
10	深鉢形土器 口縁部片	B n-28	平縁。口縁部に集合角状突起。器厚 5 mm~7 mm。				巾9mmの半截竹管の平行沈線を横方向に施文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 明褐色
11	深鉢形土器 口縁部片	B o-25	平縁。口縁部に集合角状突起。器厚 9 mm~10 mm。				RLの縄文施文後、平行沈線で文様構成。		①繊維を含む。②良 ③内外面 におい黄褐色
12	深鉢形土器 口縁部片	B o-27	波状口縁か?器厚 9 mm~12 mm。内面は丁寧な調整。				上部は刺突文、耳状の貼付文。以下RLのループ文。		①繊維を含む。②良 ③内外面 暗褐色
13	深鉢形土器 口縁部片	B k-28	平縁。器厚 9 mm~10 mm。内面は器面が荒れ、所々に繊維痕。				LRLの斜縄文の上に巾11mmの半截竹管の平行沈線で文様を構成している。		①繊維を含む。②良 ③外 暗褐色 内 におい橙色
14	深鉢形土器 口縁部片	B q-28	波状口縁。器厚 9 mm~11 mm。内面は横方向の丁寧な調整。				巾11mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文で菱形を構成している。		①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色
15	深鉢形土器 口縁部片	B k-21	波状口縁。器厚 6 mm~13 mm。内面は丁寧な調整。				巾10mmの半截竹管の平行沈線内に爪形文で菱形構成。現高(16.8 cm)、頸径 25.7 cm。		①繊維を含む。②良 ③外面 褐色 内 暗褐色
16	深鉢形土器 底部	B k-28	脚部が確立した上げ底。器厚 8 mm~12 mm。丁寧な調整。				原体LRの斜縄文。現高(3.0 cm)、底径 8.0 cm。		①繊維を含む。②良 ③内外面 赤褐色
17	深鉢形土器 底部	B n-33	器厚 8 mm~14 mm。内面はザラザラ。				沈線で上向きの舌状区画。区画内を原体LRの斜縄文充填。		①無繊維、砂粒を含む。②良 ③外 赤褐色 内 黒褐色
18	深鉢形土器 底部	B p-25	器厚 10 mm。				口縁部は無文。頸部以下に隆帯で文様を構成。区画内に附加条(RL+R)の縄文充填。		①無繊維、細砂粒を含む。 ②良 ③内外面 橙色
19	甕	B j-26	頸部へ口縁にかけて「く」の字状に外反する。				外 口縁部はヘラミガキで無文、頸部へ胴上位に波状文、以下ヘラミガキ。 内 頸部以下にヘラミガキが観察できる。		①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③浅黄褐色
20	壺	B j-26	頸部は大きくくびれる。				外 頸部へ胴上位はT字文の間に11本単位の波状文。以下ヘラケズリ後ヘラミガキ。 内 ヘラケズリ。胴部に指頭圧痕。		①砂粒を含む。 ②やや堅緻 ③橙色
番号	器種 (遺存状態)	出土位置 グリッド	計	測	値	(cm・g)	石 材	特 徴	
番号	器種 (遺存状態)	出土位置 グリッド	全長	幅	厚さ	重量			
21	打製石鏃 完形	B h-29	1.9	1.7	0.4	0.7	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。先端わずかに欠く。	
22	打製石鏃 完形	B p-30	1.7	1.5	0.4	0.7	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。寸づまりの形でやや脚が長い。	
23	打製石鏃 一部欠損	B p-25	(2.0)	(1.1)	0.3	0.5	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。細身。下半部を欠く。	
24	打製石斧 完形	B n-27	13.6	7.7	2.1	255.2	硬質泥岩	両側中央部にえぐりが入る。上下両端近くの稜に摩耗が見られる。	
25	凹石	B o-24	8.7	8.7	3.6	318.3	変質デイス サイト	両面中央部にくぼみ。風化が激しいため明瞭ではないが、側縁に敲打痕がある。	
26	石皿	B o-30	26.8	17.0	4.1	2380.0	緑色片岩	一部熱を受け赤変している。	
27	磨製石斧 片	B q-28	9.8	5.4	3.0	315.3	変輝緑岩	全面がよく研磨されている。刃部には使用によると思われる剝離痕がある。	
28	石鏃	B k-31	14.7	10.2	3.5	726.4	硬質泥岩	厚い横長の剝片を素材とし、全周両面に調整を加える。刃部近くに摩耗がある。	
番号	器 種	出土位置 グリッド	法量(cm)	器 形 ・ 成 形		文 様 ・ 整 形		①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考	
29	土製紡錘車	B r-25	外径 3.8 孔径 0.5	中央部に円孔。片面はやや膨らむ。		ヘラケズリ後ヘラミガキ。		①砂粒を含む。②堅緻 ③明赤褐色	

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第142集

南蛇井増光寺遺跡Ⅰ

(遺物観察表編)

関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第14集

平成4年12月18日 印刷
平成4年12月25日 発行

編集/群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話(0279)52-2511(代表)

発行/群馬県考古資料普及会

印刷/朝日印刷工業株式会社

付図 南蛇井増光寺遺跡B区 全体図

